

激動の2025年 「世界のベスト」運用責任者の着目点

インベスコ 世界厳選株式オープン

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)
<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)
<為替ヘッジあり> (奇数月決算型) / <為替ヘッジなし> (奇数月決算型)

愛称：世界のベスト

設定・運用は

インベスコ・アセット・マネジメント

商号等 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

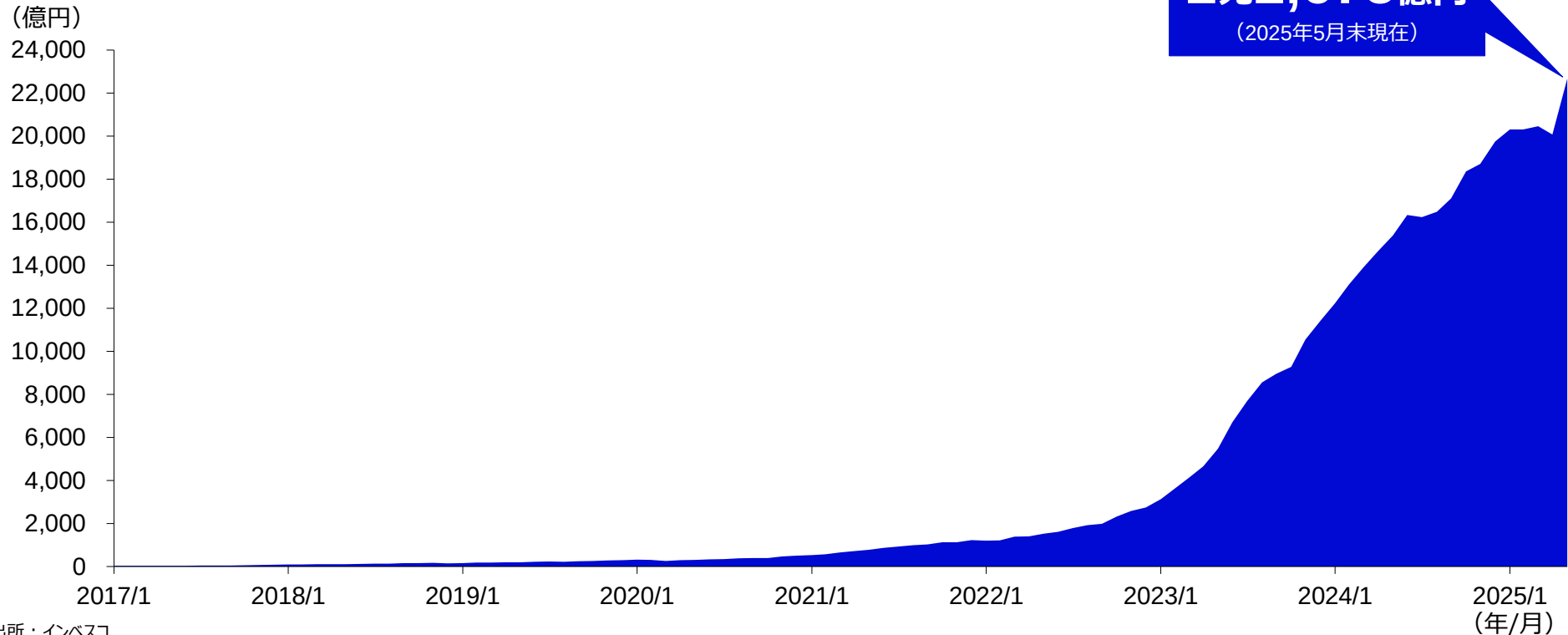


運用資産額ランキング第1位のグローバル株アクティブ・ファンド*1

8年超（101カ月）連続での純資金流入を記録*2

世界のベストの純資産総額の推移

期間：2017年1月末～2025年5月末



出所：インベスコ

*1 2025年3月末現在 出所：QUICK資産運用研究所調べ 国内公募の追加型株式投資信託（ETF、ラップ・SMA専用、DC専用を除く）を対象にQUICK資産運用研究所による分類（地域：海外および内外、分類：グローバル株式および先進国株式（グローバル）のアクティブ型）におけるファンド純資産総額の順位。決算回数や為替ヘッジの有無など複数のコースが存在するファンドを合算して比較したもの。

*2 2025年5月末現在 純資金流入および純資産総額のデータは、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）」/＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）」/＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）」および「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（奇数月決算型）」/＜為替ヘッジなし＞（奇数月決算型）」の合計です。純資金流入は、ファンドの設定額から解約額を差し引いたもの。連続期間は2017年1月～2025年5月。

上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

「世界のベスト」のポイント

「株式投資の王道」にこだわって世界のベストに厳選投資

日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自の視点で厳選した世界のベストと考える銘柄に投資を行います。

「成長」+「配当」+「割安」の3つの観点に着目して投資を行うことを、当ファンドでは「株式投資の王道」と考えています。



日本において「25年超の運用実績」を誇る世界株式ファンド

「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（毎月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）」は、1999年1月に設定され、2016年9月に決算頻度を毎月決算に変更、2017年1月より毎月分配を行っています。

また、「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（年1回決算型）/〈為替ヘッジなし〉（年1回決算型）」は2018年10月に、「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（奇数月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（奇数月決算型）」は2023年9月に設定されました。

販売会社によっては一部のファンドのみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

当資料では、「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（毎月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）」、「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（年1回決算型）/〈為替ヘッジなし〉（年1回決算型）」および「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（奇数月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（奇数月決算型）」を総称して「世界のベスト」もしくは「当ファンド」という場合があります。また、決算頻度に応じて「毎月決算型」、「年1回決算型」、「奇数月決算型」、為替ヘッジの有無に応じて「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」の呼称を使う場合があります。

当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社および関連会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。

「世界のベスト」運用チームのご紹介

英国に拠点を置く、経験豊かな運用チーム

当運用チームにはポートフォリオ・マネジャー4名、アナリスト4名が所属

世界の運用拠点との情報共有や議論を通じて投資アイデアを発掘

徹底的な企業調査・分析・評価プロセスを経て、世界の企業の中からベストと考える銘柄を厳選

運用責任者

多様なバックグラウンドを持つ運用チームのメンバー



スティーブン・アネス

運用責任者 ポートフォリオ・マネジャー
兼グローバル株式チーム・ヘッド

当社グループ在籍 23年
業界経験年数 23年

経歴

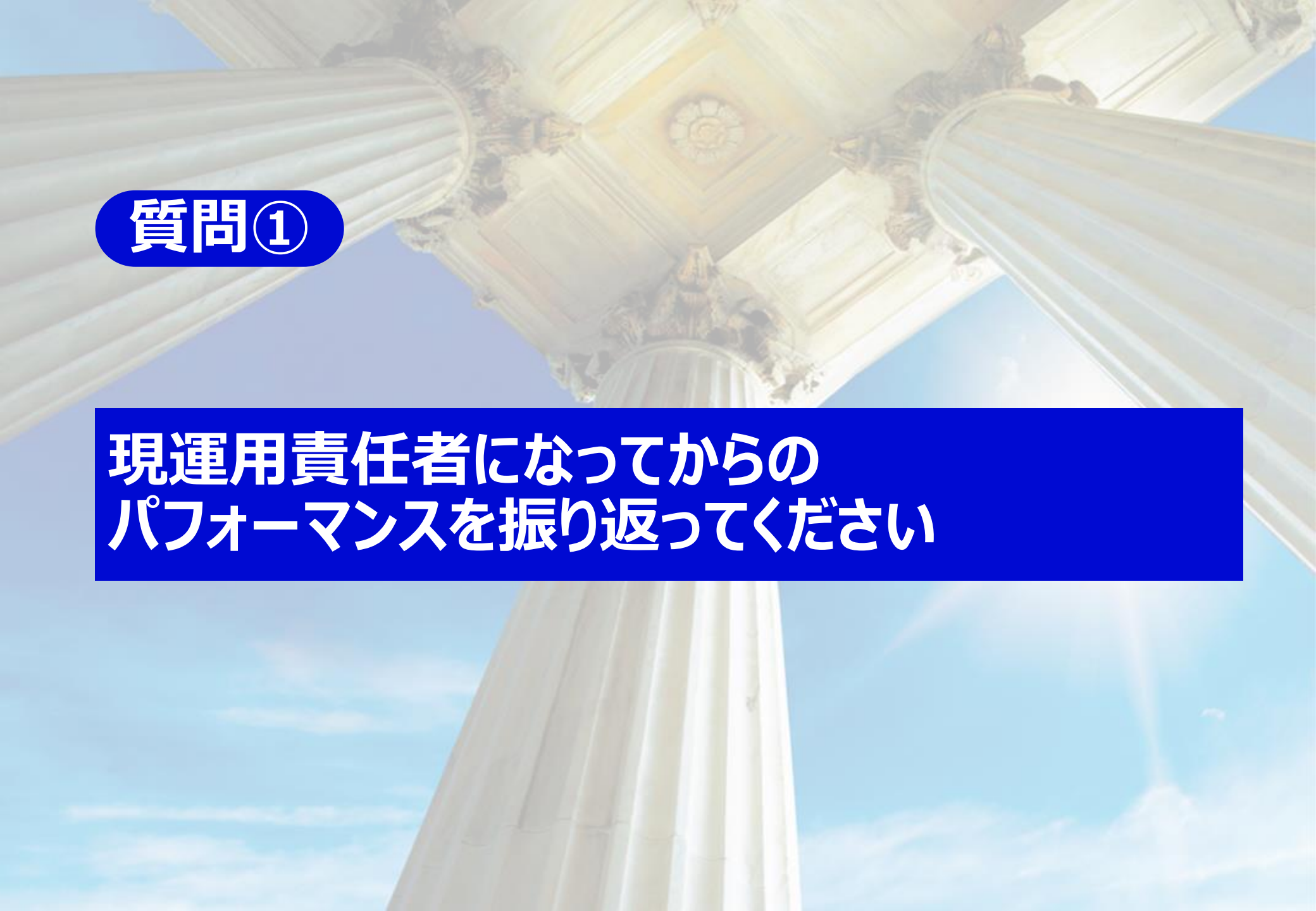
2002年7月 トレーニー・アナリストとしてインベスコに入社
2004年 英国株式ポートフォリオの運用に着手
2008年 英国株式ファンドの運用担当者に就任
2012年 グローバル株式チームに異動
2020年 「世界のベスト」のポートフォリオ・マネジャーに就任
グローバル株式チームのヘッドに就任

学歴・専門分野

- 経済学士号取得
- セキュリティ・インスティテュート・ディプロマ、英国CFA協会のInvestment Management Certificateを取得
- ロンドンビジネススクールでコーポレート・ファイナンスを学ぶ



出所：インベスコ 2025年3月末現在 運用チームのメンバーの写真にはポートフォリオ・マネジャーとアナリスト以外にプロダクト・ディレクターを含みます。



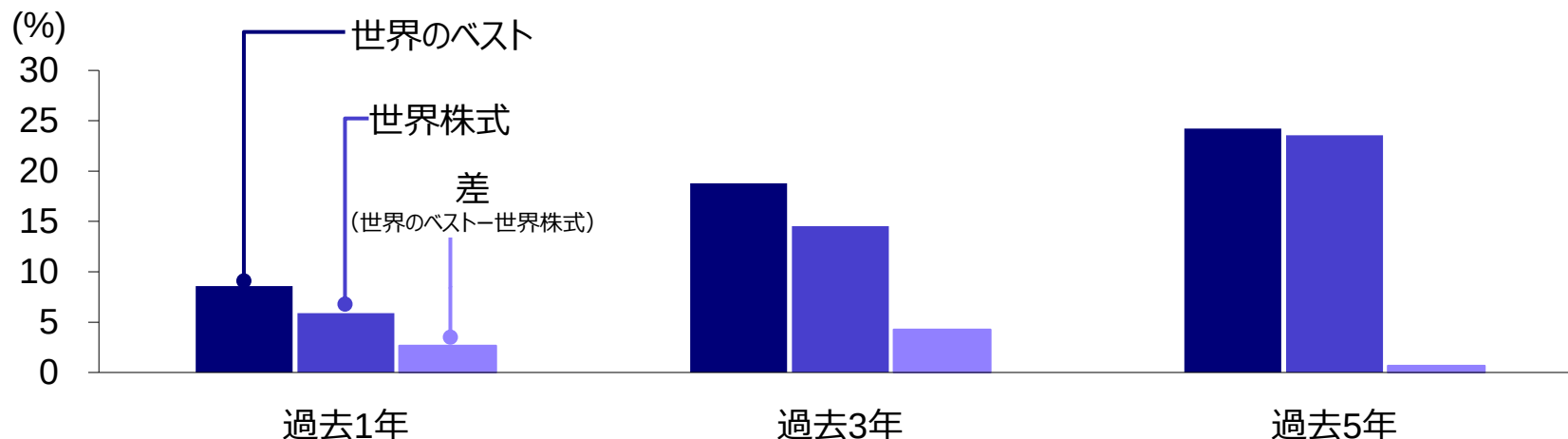
質問①

現運用責任者になってからの
パフォーマンスを振り返ってください

「世界のベスト」の運用実績①

世界のベスト＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）のパフォーマンス（年率）

2025年3月末現在



世界のベスト

8.6%

18.8%

24.2%

(ご参考) 世界株式

5.9%

14.5%

23.5%

差
(世界のベストー世界株式)

2.7%

4.3%

0.7%

出所：インベスコ、ブルームバーグ 世界のベストは、インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）。世界株式はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）。

2025年3月末現在、現運用責任者が世界のベストの運用の担当を開始してから5年となります。

世界のベスト＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）とその他のファンドの設定来の運用実績は43～45ページをご参照ください。騰落率は、基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）の年率リターンを使用しています。

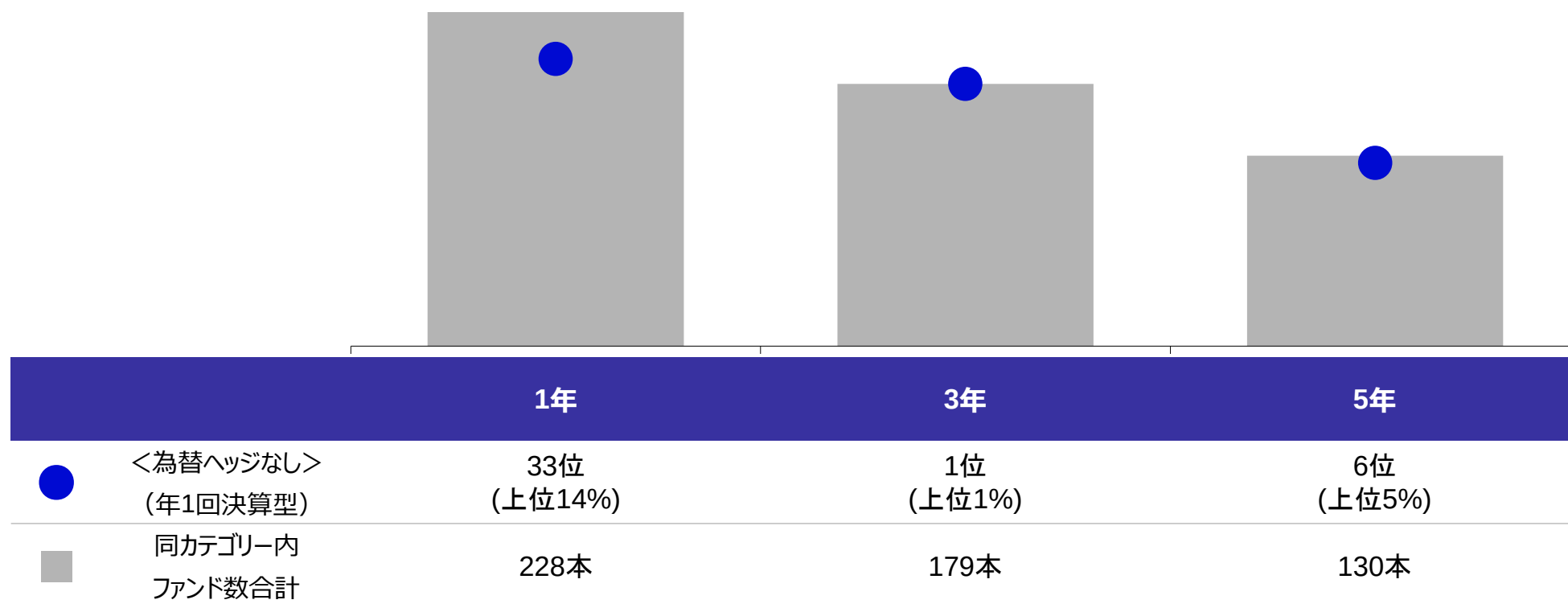
上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

「世界のベスト」の運用実績②

各期間において、モーニングスター・カテゴリーでは、いずれも上位15%以内のパフォーマンス

同カテゴリー・ファンドとのパフォーマンス比較*

モーニングスターカテゴリー・ランキング 2025年3月末現在



出所：インベスコ、モーニングスター・ダイレクト

*分析ツールのモーニングスター・ダイレクトが分類する「日本 オープンエンド - 外国株式・世界」カテゴリー内の為替ヘッジなしのファンドを対象として、2025年4月1日現在において確認可能な情報で比較したものです。知的財産権はモーニングスター・インクに帰属します。当資料について、巻末の「Morningstar Directを出所とするデータ・グラフについて」をご確認頂くをお願いいたします。世界のベスト<為替ヘッジなし>（年1回決算型）とその他のファンドの設定来の運用実績は43～45ページをご参照ください。騰落率は、基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）の年率リターンを使用しています。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

パフォーマンスに貢献した銘柄

市場とは異なった銘柄からリターンを獲得

パフォーマンスへの貢献銘柄トップ10（5年間：2020年3月末～2025年3月末、円ベース）

世界のベスト

騰落率：195.9%

市場：世界株式

マグニフィセント7*

騰落率：187.9%

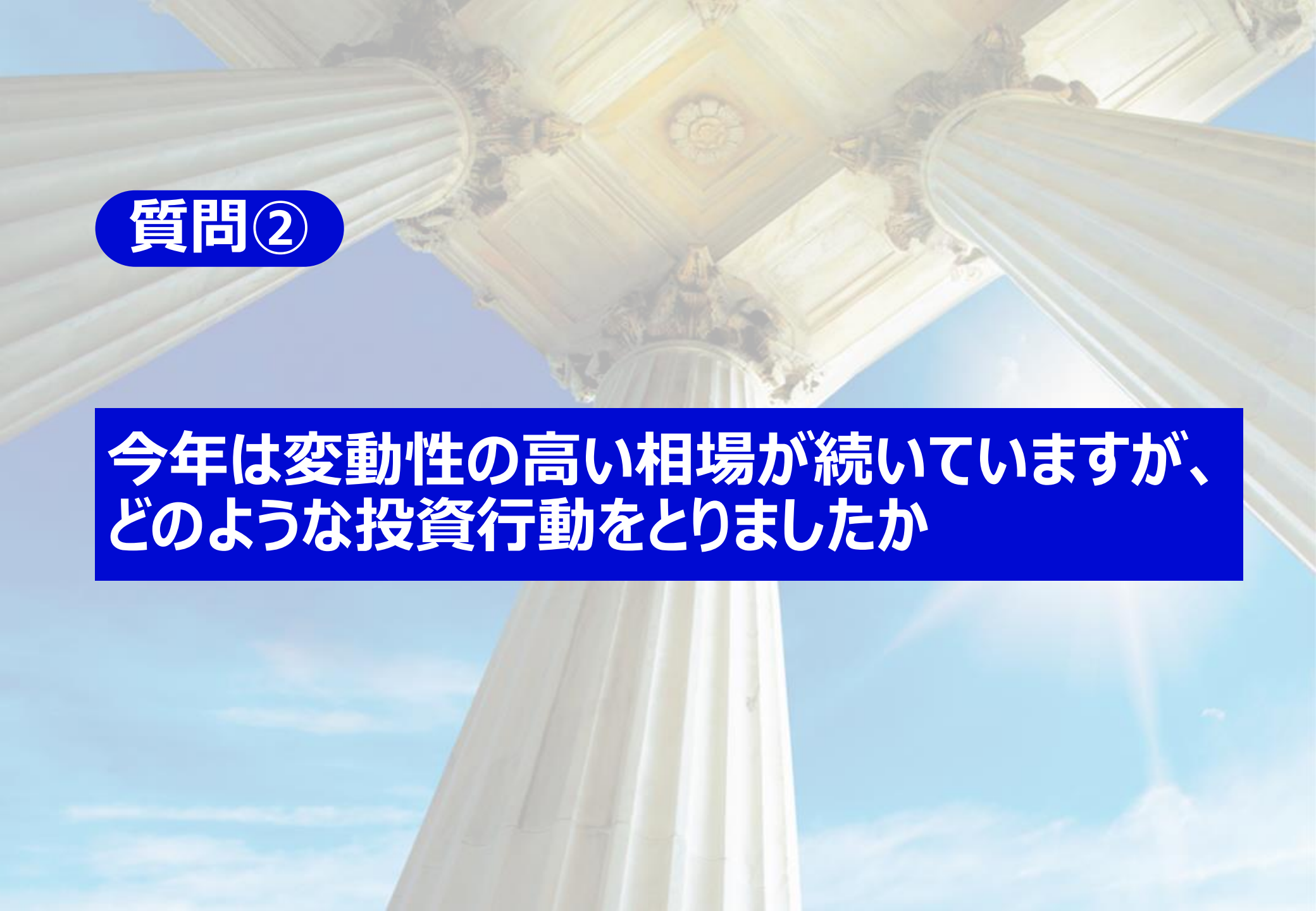
	銘柄名	国	業種
1	3iグループ	英国	金融
2	マイクロソフト	米国	情報技術
3	アシュテッド・グループ	英国	資本財・サービス
4	テキサス・インスツルメンツ	米国	情報技術
5	ブロードコム	米国	情報技術
6	プログレッシブ	米国	金融
7	JPMorgan Chase & Co.	米国	金融
8	アルファベット C	米国	コミュニケーション・サービス
9	オロン・エナジー	スウェーデン	公益事業
10	アナログ・デバイセズ	米国	情報技術

	銘柄名	国	業種
1	アップル	米国	情報技術
2	マイクロソフト	米国	情報技術
3	エヌビディア	米国	情報技術
4	アマゾン・ドット・コム	米国	一般消費財・サービス
5	メタ・プラットフォームズ A	米国	コミュニケーション・サービス
6	アルファベット A	米国	コミュニケーション・サービス
7	アルファベット C	米国	コミュニケーション・サービス
8	テスラ	米国	一般消費財・サービス
9	ブロードコム	米国	情報技術
10	イーライリリー	米国	ヘルスケア

出所：インベスコ、ブルームバーグ、FactSet *グーグルの親会社アルファベット、アップル、フェイスブック（現メタ・プラットフォーム）、アマゾン・ドット・コム、マイクロソフト、テスラ、エヌビディア

世界のベスト騰落率は＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）の基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）を使用しています。世界株式は、MSCIワールド・インデックスを使用（騰落率は、税引後配当込み、円換算ベースのもの。当ファンドの基準日の前日の数値を用いています）。銘柄名の後に記載のA、Cは、議決権数の違い等による議決権種類株式の種別を示します。世界のベストは、マザーファンドのデータを使用。世界株式との相对比较ではなく、絶対値ベース寄与度の上位銘柄。国は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。ベンチマークは、＜為替ヘッジあり＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）、＜為替ヘッジなし＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。

上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。



質問②

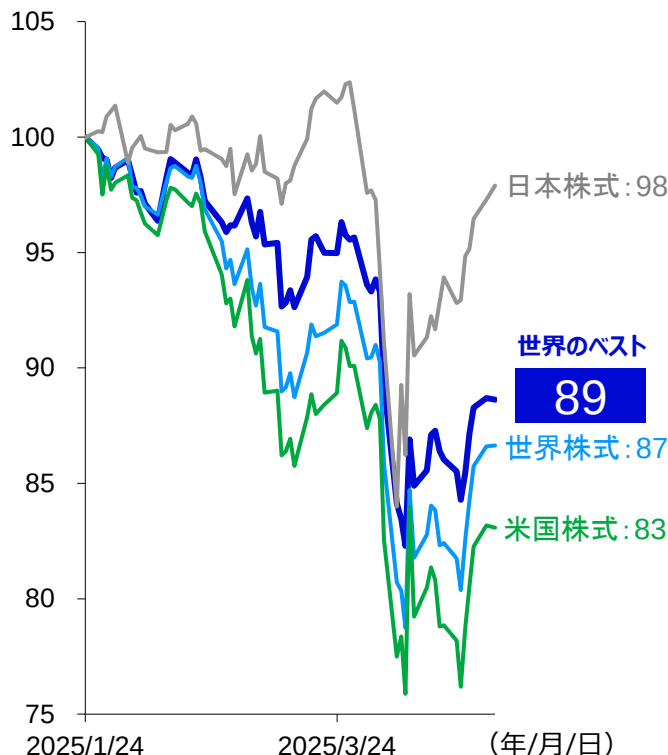
今年は変動性の高い相場が続いていますが、
どのような投資行動をとりましたか

「世界のベスト」と主な市場のパフォーマンス（円ベース）

割安・配当にも着目し、ポートフォリオを分散することにより下値を抑制

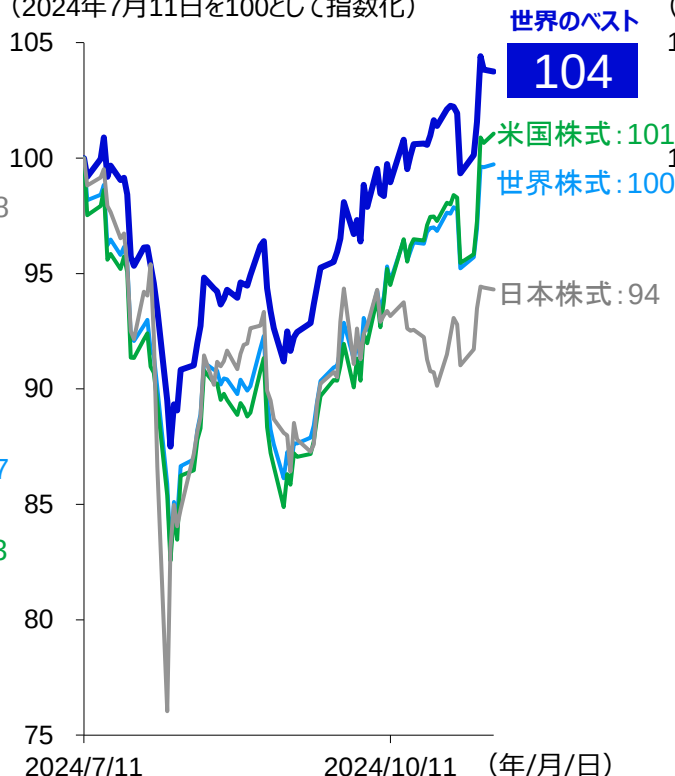
2025年の下落局面

期間：2025年1月24日～2025年4月30日
（2025年1月24日を100として指数化）



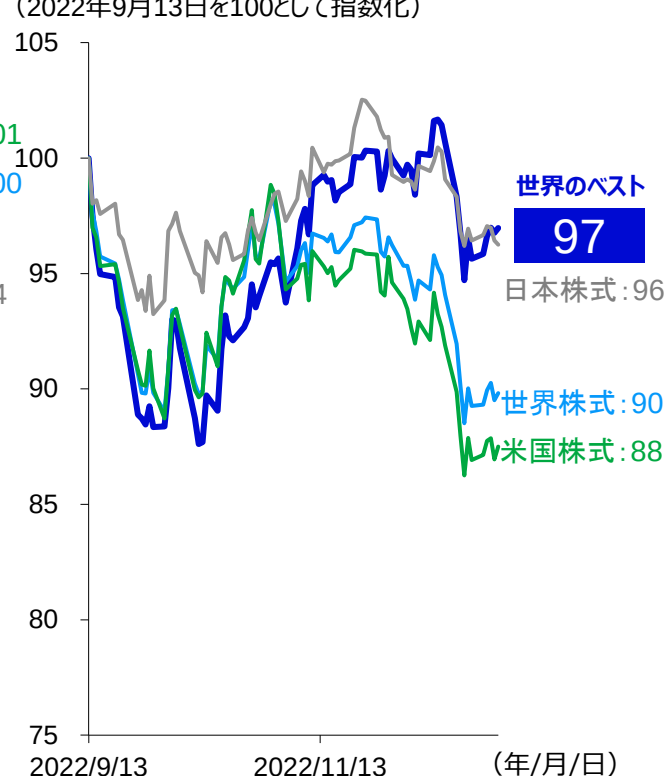
2024年の下落局面

期間：2024年7月11日～2024年11月11日
（2024年7月11日を100として指数化）



2022年の下落局面

期間：2022年9月13日～2022年12月末
（2022年9月13日を100として指数化）



出所：インベスコ、ブルームバーグ

下落局面はMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の最高値からドローダウンが開始した日を起点とし、当該年末（2025年は4月末まで）もしくは、世界株式が最高値を更新する前日を終点として計算。
世界のベストは＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）の基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）を使用。世界株式：MSCIワールド・インデックス（米ドルベース）、米国株式：S&P500指数（米ドルベース）、日本株式：TOPIX、すべて配当込み。米ドルベースの指数は、当ファンドの基準日の前日の数値を用いて委託会社にて円換算しています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的でご参考として掲載しています。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

2025年下落局面での投資行動例：追加組入

カナディアン・パシフィック・カンザス・シティ



(カナダ/資本財・サービス)

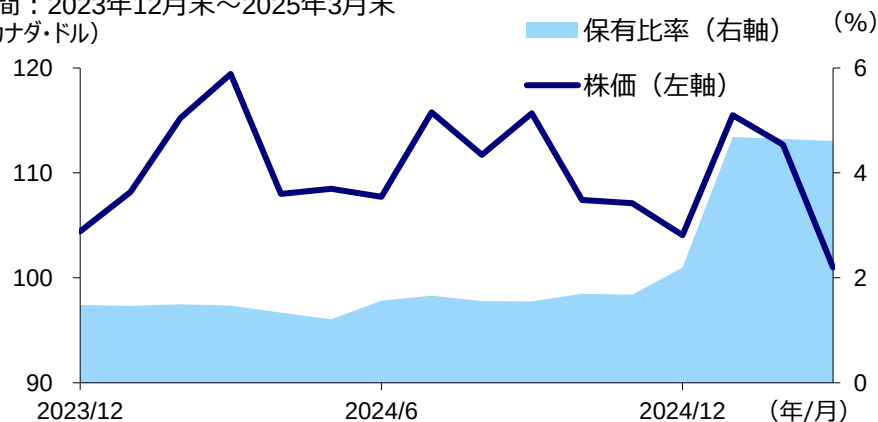
カナダの大手貨物鉄道会社

投資行動とその背景

- 米国の関税政策への懸念から、株価は低迷
- 同社のカナダ-米国-メキシコを結ぶ鉄道網は、代替や模倣が困難で、競争優位性に变化なしと判断し、追加で組み入れ

株価と組入比率の推移

期間：2023年12月末～2025年3月末
(カナダ・ドル)



ファーガソン・エンタープライゼス



(米国/資本財・サービス)

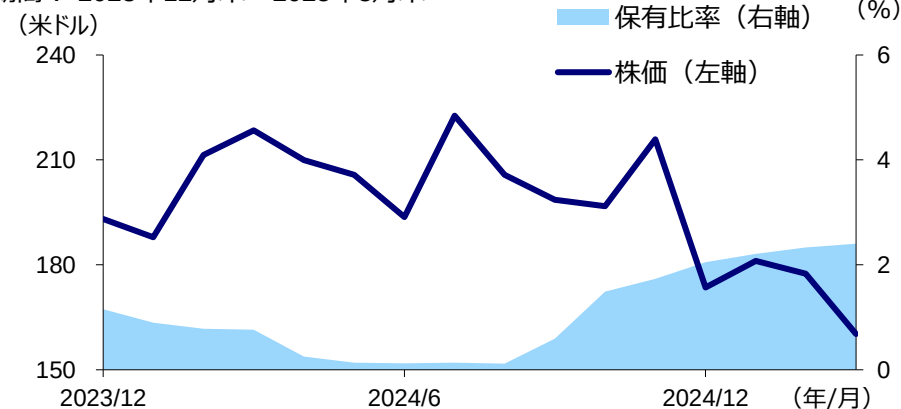
米国の配管・空調製品卸売業者

投資行動とその背景

- 米国の景気後退懸念や短期的な業績不振を背景に株価は低迷
- 経験豊富な経営陣による戦略、圧倒的な顧客基盤から、同社の競争優位性は変わらないと判断し、追加で組み入れ
- 住宅不足と老朽化する中古住宅の改築ニーズから構造的な成長を期待

株価と組入比率の推移

期間：2023年12月末～2025年3月末



出所：インベスコ、ブルームバーグ、企業公開情報 国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

2025年下落局面での投資行動例：全売却

アップル (米国/情報技術)

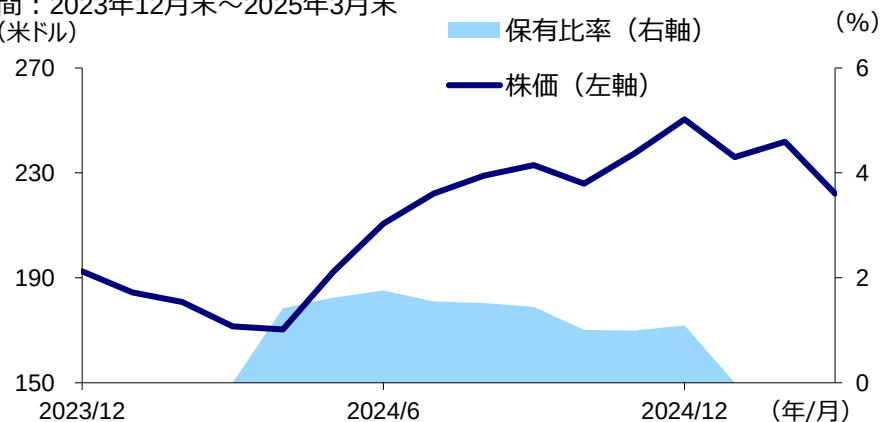
iPhoneやMacなどのデジタル製品を手掛ける米国のテクノロジー企業

投資行動とその背景

- 2024年4月、規制強化や中国での販売不振が嫌気され、株価低迷時に新規に組み入れ
- AI発展への期待が好感され、株価は上昇。十分な利益を獲得できたことから、2025年1月に全売却

株価と組入比率の推移

期間：2023年12月末～2025年3月末
(米ドル)



レックス (英国/資本財・サービス)

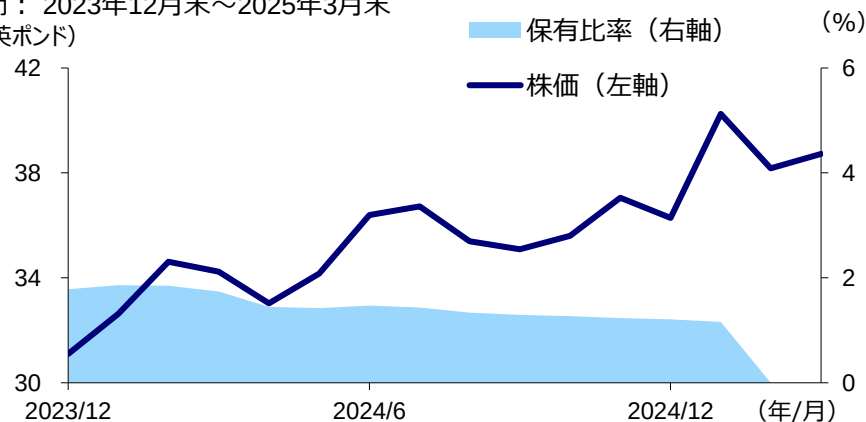
法律、科学、医学等の分野で専門性の高い分析・意思決定ツールを提供

投資行動とその背景

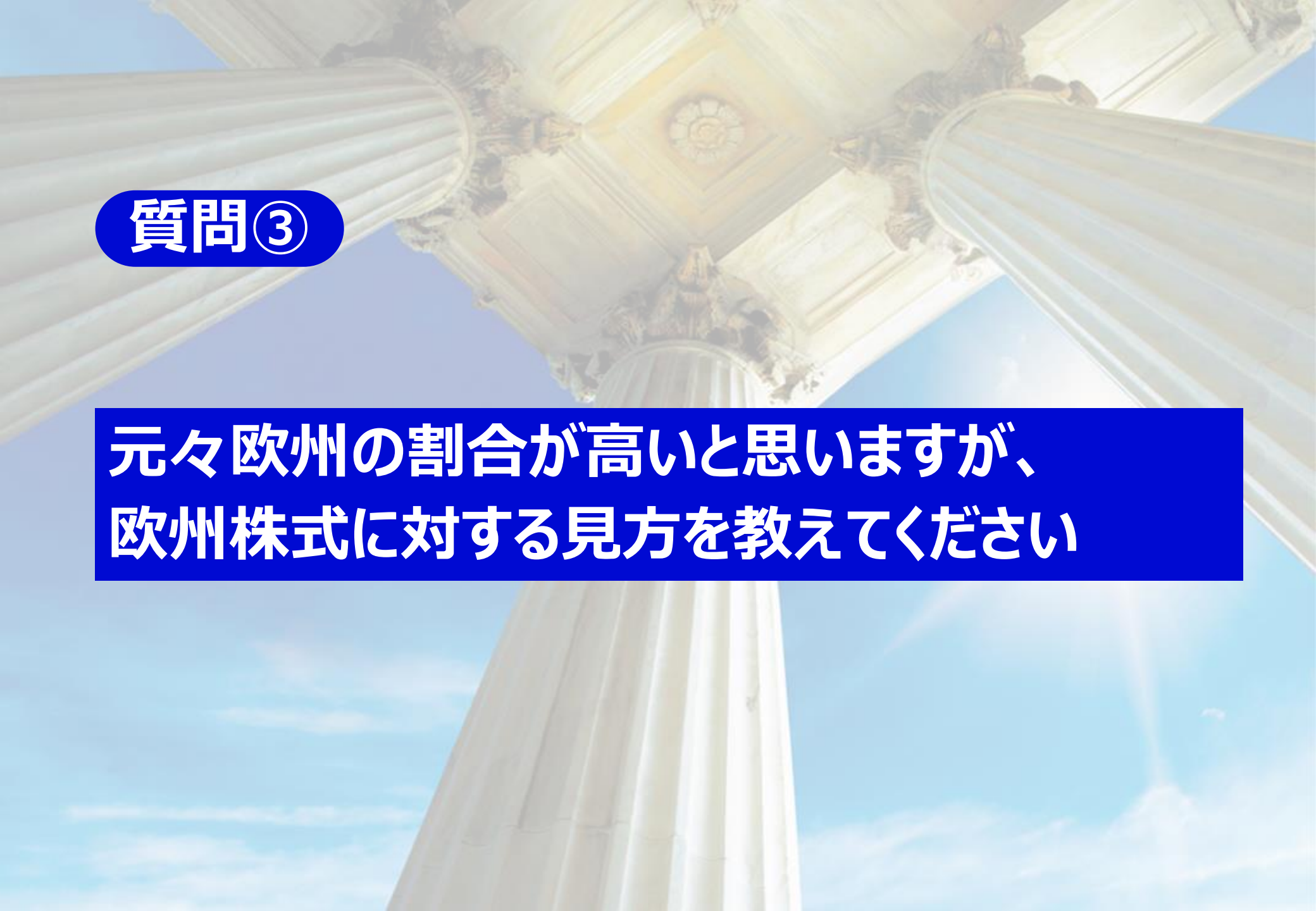
- 2020年9月、サブスクリプションモデルによる安定的な収益等を評価し、新規に組み入れ。その後、Chat GPT等のAI普及の影響が懸念される中でも、高度な専門領域における信頼性の高いデータベースの必要性は変わらないと評価し、保有を継続
- 株価が上昇し、十分な利益を獲得できたことから、2025年2月に全売却

株価と組入比率の推移

期間：2023年12月末～2025年3月末
(英ポンド)



出所：インベスコ、ブルームバーグ、企業公開情報 国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。



質問③

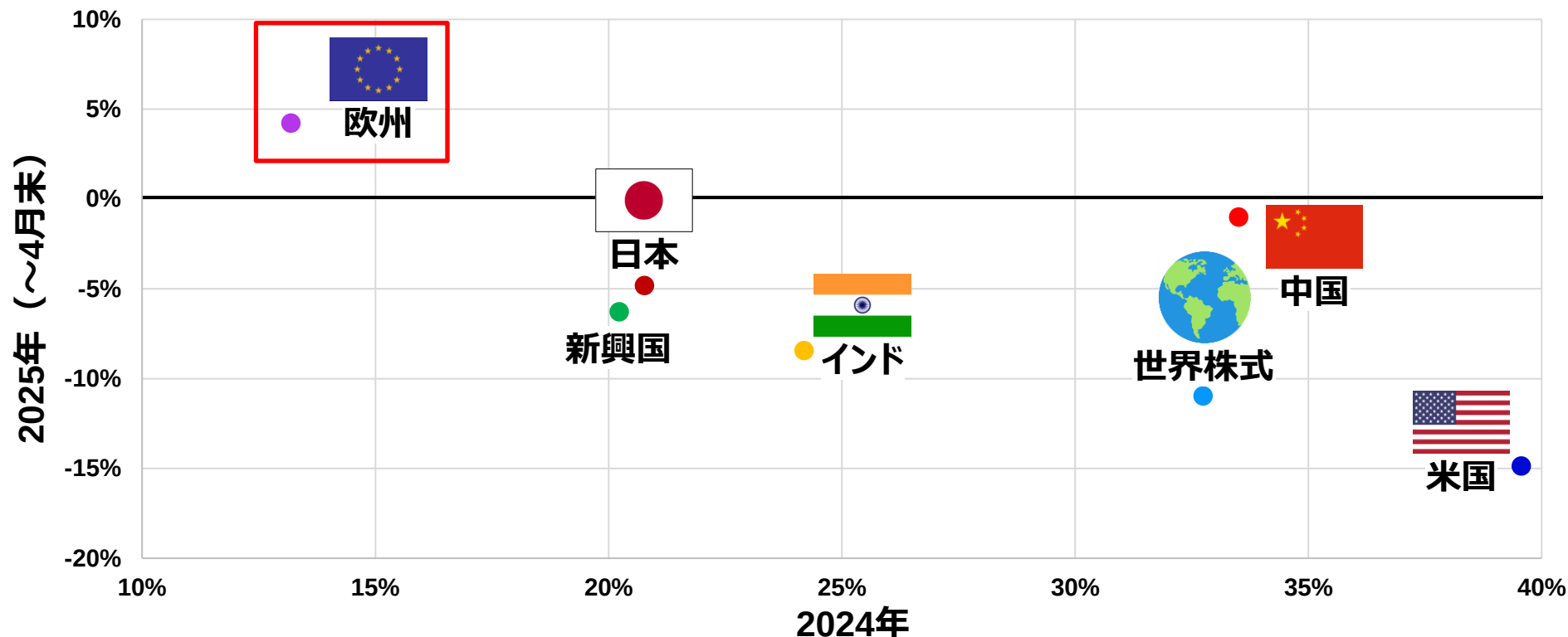
元々欧州の割合が高いと思いますが、
欧州株式に対する見方を教えてください

主要国・地域別の2024年と2025年のリターン比較

2025年は欧州株式のパフォーマンスが堅調

主要国・地域ごとのリターン比較

2024年及び2025年（～4月末）



出所：ブルームバーグ

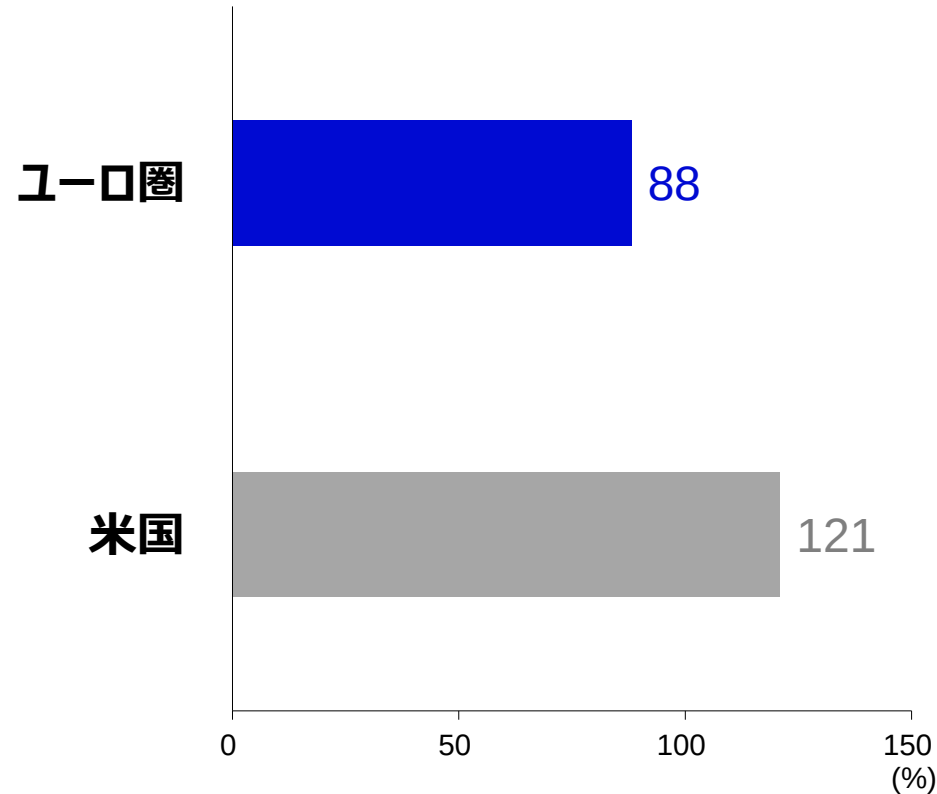
欧州はMSCIヨーロッパ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）、米国はMSCI米国・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）、日本はMSCI日本・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）、中国はMSCI中国・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）、インドはMSCIインド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）、新興国はMSCI エマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）、世界株式はMSCI ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）を使用。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

欧州株式が堅調な背景

財政の拡大余地、限定的な米国輸出

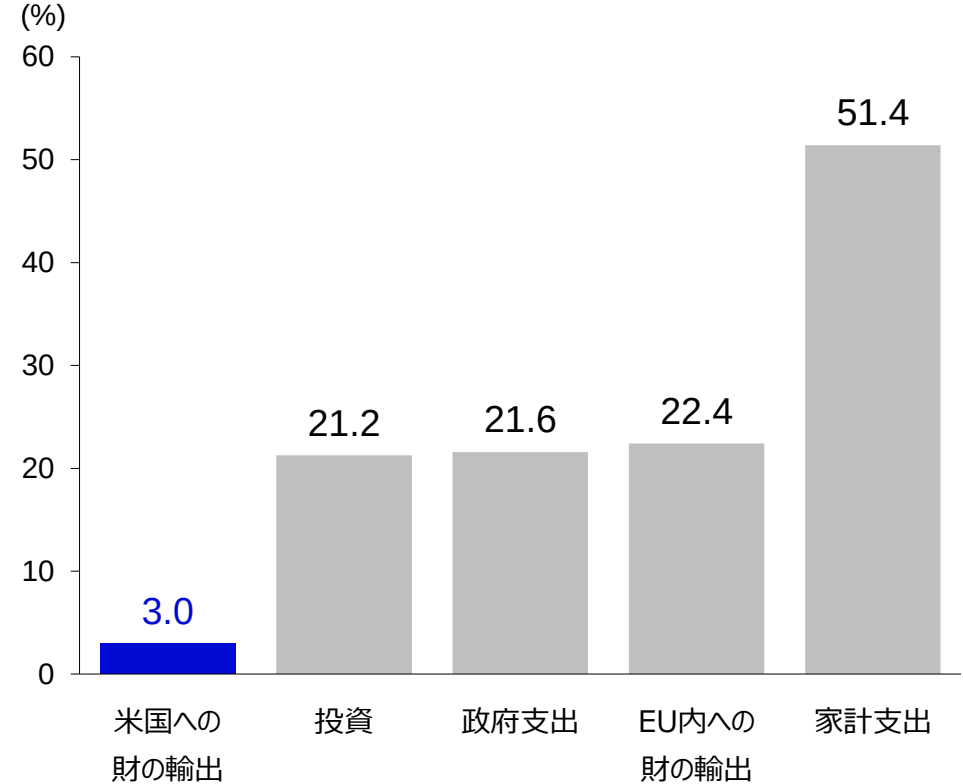
政府債務/GDP

2024年



欧州のGDP寄与度

2024年



出所：ブルームバーグ、IMF、Eurostat

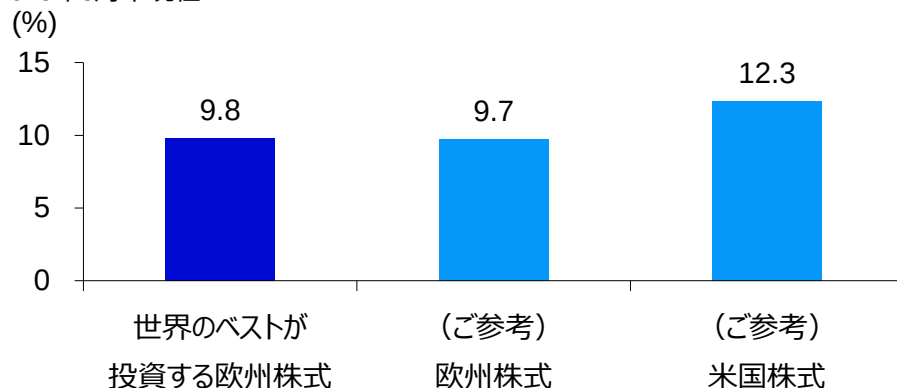
政府債務/GDPはユーロ圏はIMF Euro Area General Government Gross Debt % of GDPを、米国はIMF US General Government Gross Debt % of GDPを使用。GDP寄与度はEurostatの公開しているESA 2010に基づきGDPへの寄与度がプラスとなる主要な構成要素を表示しています。EU（欧州連合）および米国以外の国への輸出のプラスの影響や、輸入のマイナスの影響を表示していないため、合計は100%になっていません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

「世界のベスト」が投資する欧州銘柄

予想1株当たり利益成長率を加味しても、欧州株式は割安と判断

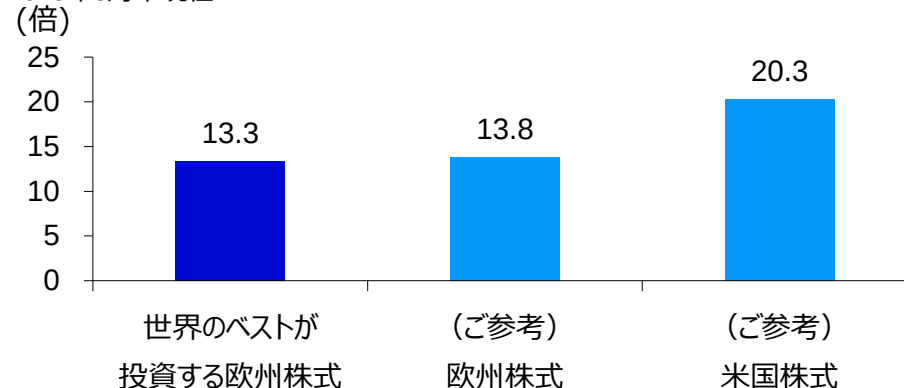
予想1株当たり利益成長率*1

2025年3月末現在



予想株価収益率 (PER) *2

2025年3月末現在



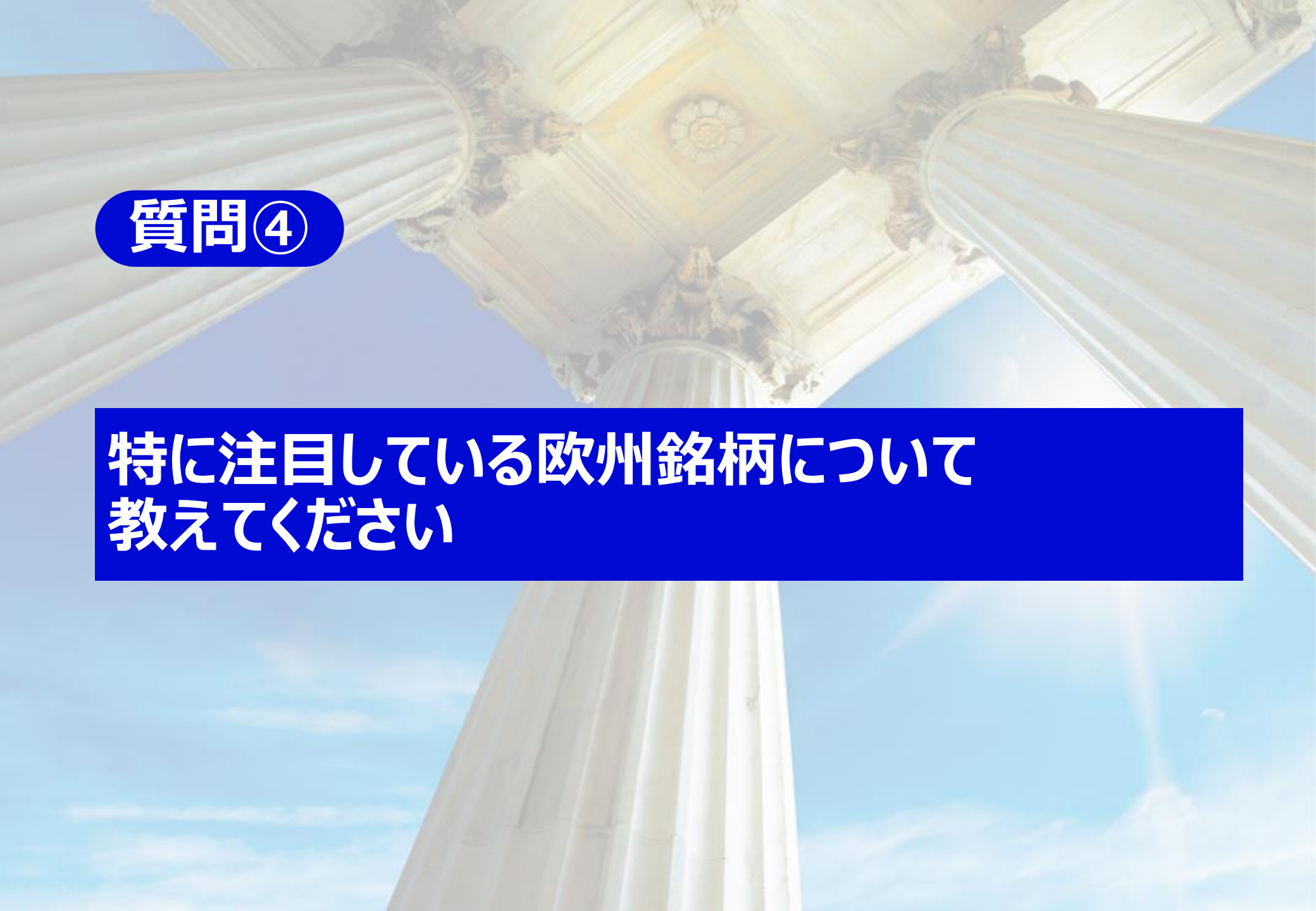
世界のベストが投資する欧州企業の地域別売上高割合

2024年12月末現在 (ロールス・ロイス・ホールディングスは2023年12月末現在)

銘柄名	国	欧州	その他
ロールス・ロイス・ホールディングス	英国	37%	63%
LVMH モエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン	フランス	25%	75%
スタンダードチャータード*3	英国	開示無	60% (アジア*4)

出所：インベスコ、ブルームバーグ、FactSet *1 3-5年先の予想EPS Growthの値を使用 *2 1年先の予想1株当たり利益に基づく値を使用 *3 スタンダードチャータードについては、銀行において、一般企業における売上高に相当する純経常収益の値を使用 *4 アジアは香港、韓国、中国、シンガポール、インド、台湾の合計です。

上記は世界のベストのマザーファンドのデータを使用しています。世界のベストが投資を行う欧州株式の特性値は、マザーファンドの組入保有証券の比率で加重平均した値です。欧州株式および米国株式の特性値は、指数の構成比率で加重平均した値です。欧州株式：MSCIヨーロッパ・インデックス 米国株式：S&P500 MSCIヨーロッパ・インデックスおよびS&P500は、世界のベストのベンチマークではありません。市場動向をご理解いただく目的でご参考として掲載しています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去の予想データであり、将来の成果を保証するものではありません。



質問④

特に注目している欧州銘柄について
教えてください



英国/資本財・サービス

企業概要

- 民事・軍事向け航空機や船舶のエンジンの開発・生産会社
- 航空宇宙、防衛、エネルギーなど幅広い分野にサービスを提供、エンジンの製造だけでなく、メンテナンス・サービスも手掛ける

投資の着目点

ー 現保有の投資開始時期：2018年6月ー

【成長】

- 世界トップクラスの製品や、参入障壁の高さから強固な地位を確立
- 軍用輸送機および哨戒機のエンジンでも業界トップクラス
- 安全性のために必要な継続的なメンテナンスで、**安定的な収入**を確保
- 質の高い経営陣

【配当】

- 配当利回り：0.8%*、経営体制の改善を受けて**配当を再開**

【割安】

- 予想PER：30.8倍（2025年3月末現在）

出所：インベスコ、ブルームバーグ、Factset、企業公開情報

*配当利回りは2025年3月末現在の会社発表に基づく

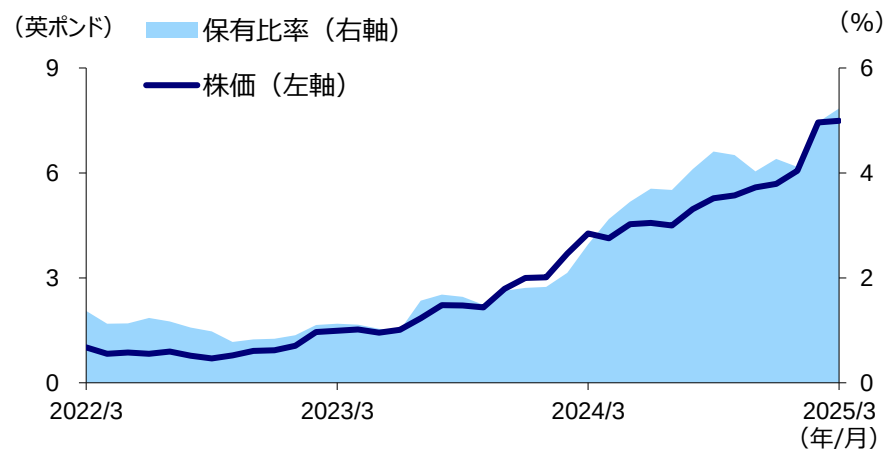
国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。組入比率は対純資産比です。予想PERは来年度の予想1株当たり利益に基づく値を使用。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は運用チームによる2025年3月末現在における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。

上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。



株価と組入比率の推移

期間：2022年3月末～2025年3月末





デンマーク/ヘルスケア

企業概要

- 糖尿病治療や肥満症治療市場のトッププレイヤー
- 糖尿病、肥満症、希少血液疾患などの治療薬を開発、製造、販売

投資の着目点

ー 現保有の投資開始時期：2024年11月ー

【成長】

- 糖尿病治療薬市場では寡占2社の1社
- 急成長を遂げる肥満症治療薬市場においても業界のリーダーで、世界の肥満症治療薬市場の約63%の市場シェア*を獲得

【配当】

- 配当利回り：2.4%（2025年3月末現在）

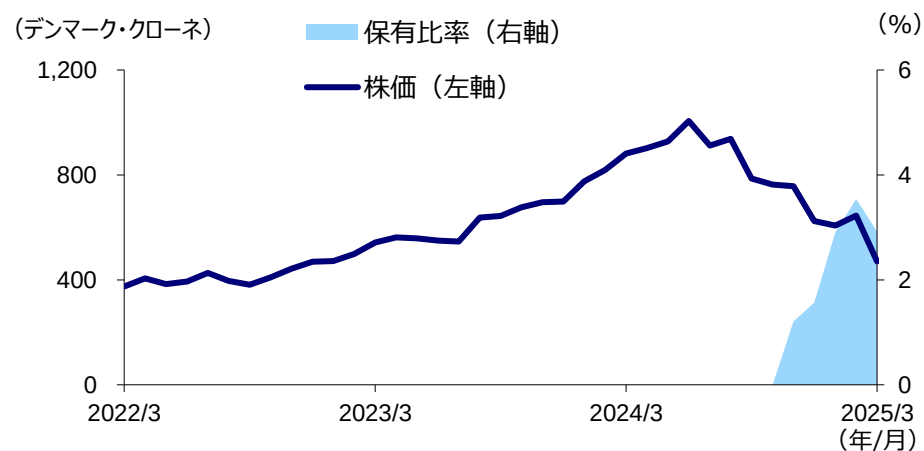
【割安】

- 予想PER：16.4倍（2025年3月末現在）

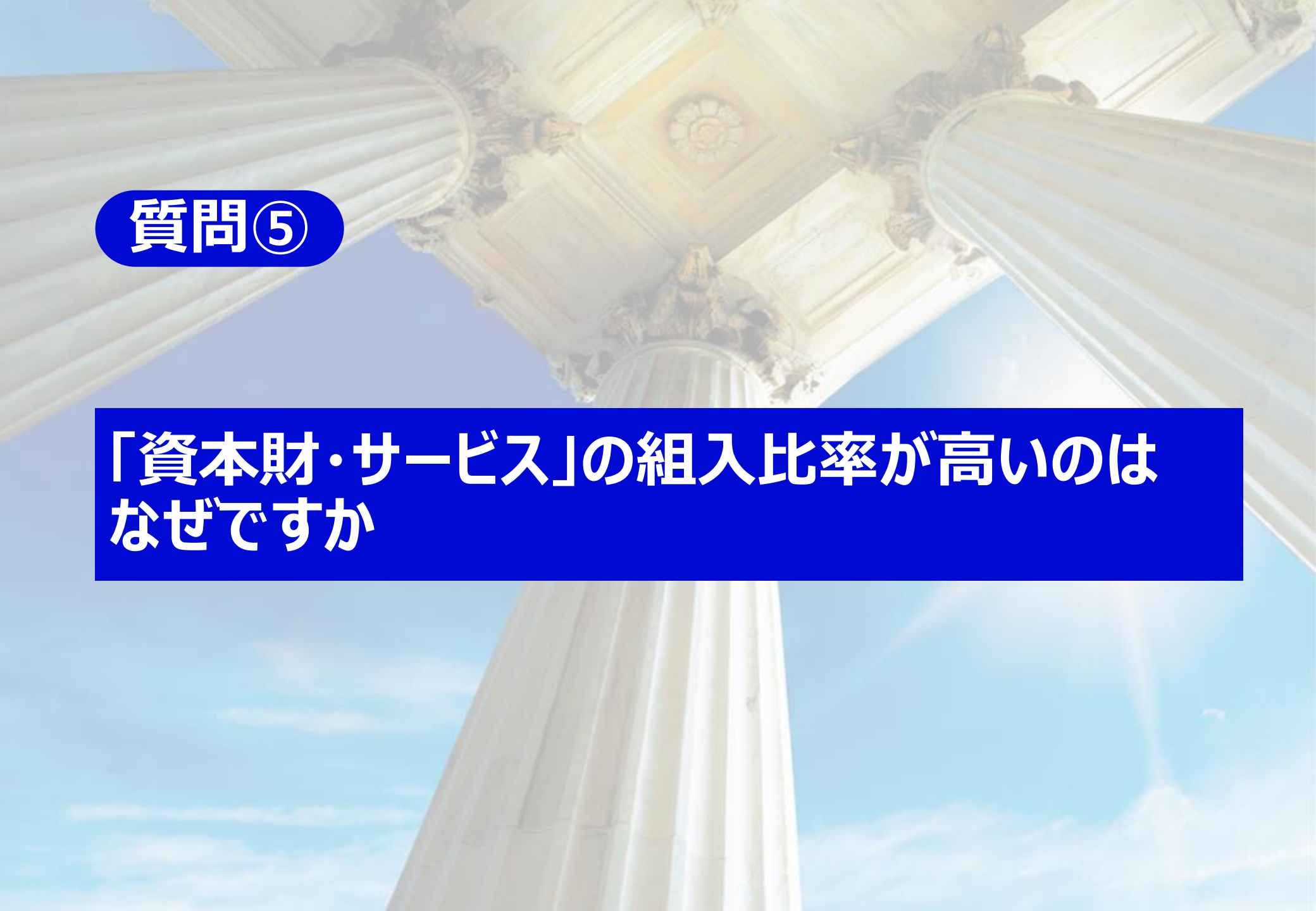


株価と組入比率の推移

期間：2022年3月末～2025年3月末（組入比率は2024年11月末～2025年3月末）



出所：インベスコ、ブルームバーグ、Factset、企業公開情報 *2025年2月末現在 国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。組入比率は対純資産比です。予想PERは来年度の予想1株当たり利益に基づく値を使用。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は運用チームによる2025年3月末現在における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。



質問⑤

**「資本財・サービス」の組入比率が高いのは
なぜですか**

「資本財・サービス」セクターの内訳

各分野で高い競争優位性を有すると考える企業に分散投資

運輸

・ 鉄道会社

(カナディアン・パシフィック・カンザス・シティ、
ユニオン・パシフィック)

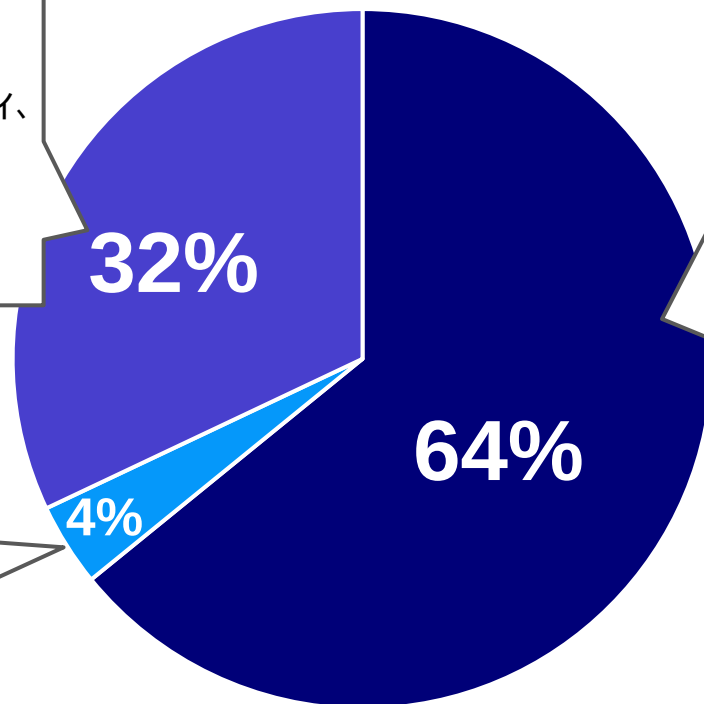
・ トラック輸送会社

(オールド・ドミニオン・フレイト・ライン)

商業・専門サービス

・ 政府事業受注企業

(アメンタム・ホールディングス)



資本財

・ エンジン開発会社

(ロールス・ロイス・ホールディングス)

・ 配管・空調製品卸売業者

(ファーガソン・エンタープライゼズ)

等

出所：インベスコ、2025年3月末現在。上記は世界のベストのマザーファンドのデータを使用しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。
上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

「資本財・サービス」セクターの投資銘柄例

「運輸」銘柄の着目ポイント

高い参入障壁から、長期的にはキャッシュフローの拡大が見込まれるビジネス

カナディアン・パシフィック・カンザス・シティ



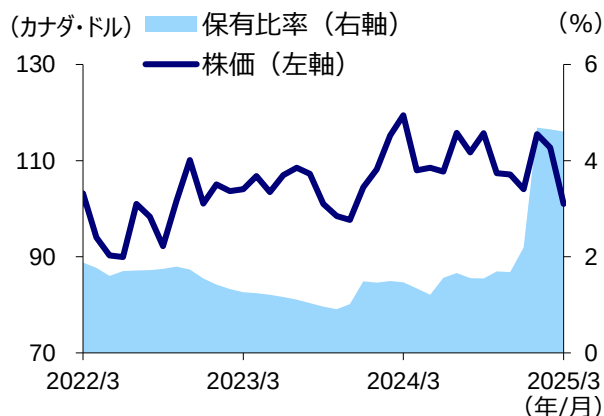
貨物鉄道



- カナダの大手貨物鉄道会社
- カナダ、アメリカ、メキシコを結ぶ唯一の単一線路の国際鉄道ネットワークを持ち、北米全体への輸送が可能

株価と組入比率の推移

期間：2022年3月末～2025年3月末



出所：インベスコ、ブルームバーグ、Statista 当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。上記は運用チームによる2025年3月末現在における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。上記は運用チームによる2025年3月末現在における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

ユニオン・パシフィック



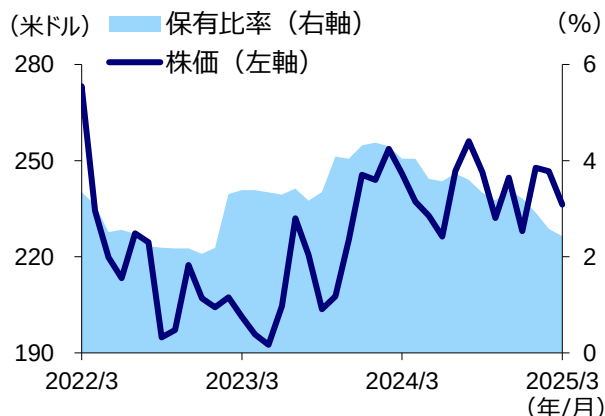
貨物鉄道



- 米国の最大規模の貨物鉄道会社
- 米国西部2/3の23州を跨ぐ鉄道網を保有
- メキシコへの主要輸送ルートほか、カナダの鉄道システムとも接続

株価と組入比率の推移

期間：2022年3月末～2025年3月末



オールド・ドミニオン・フレイト・ライン



トラック輸送

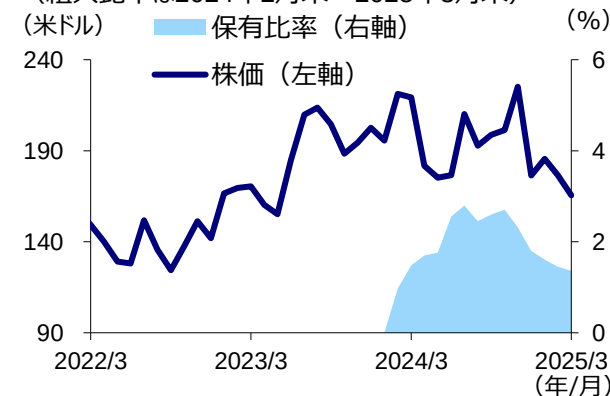


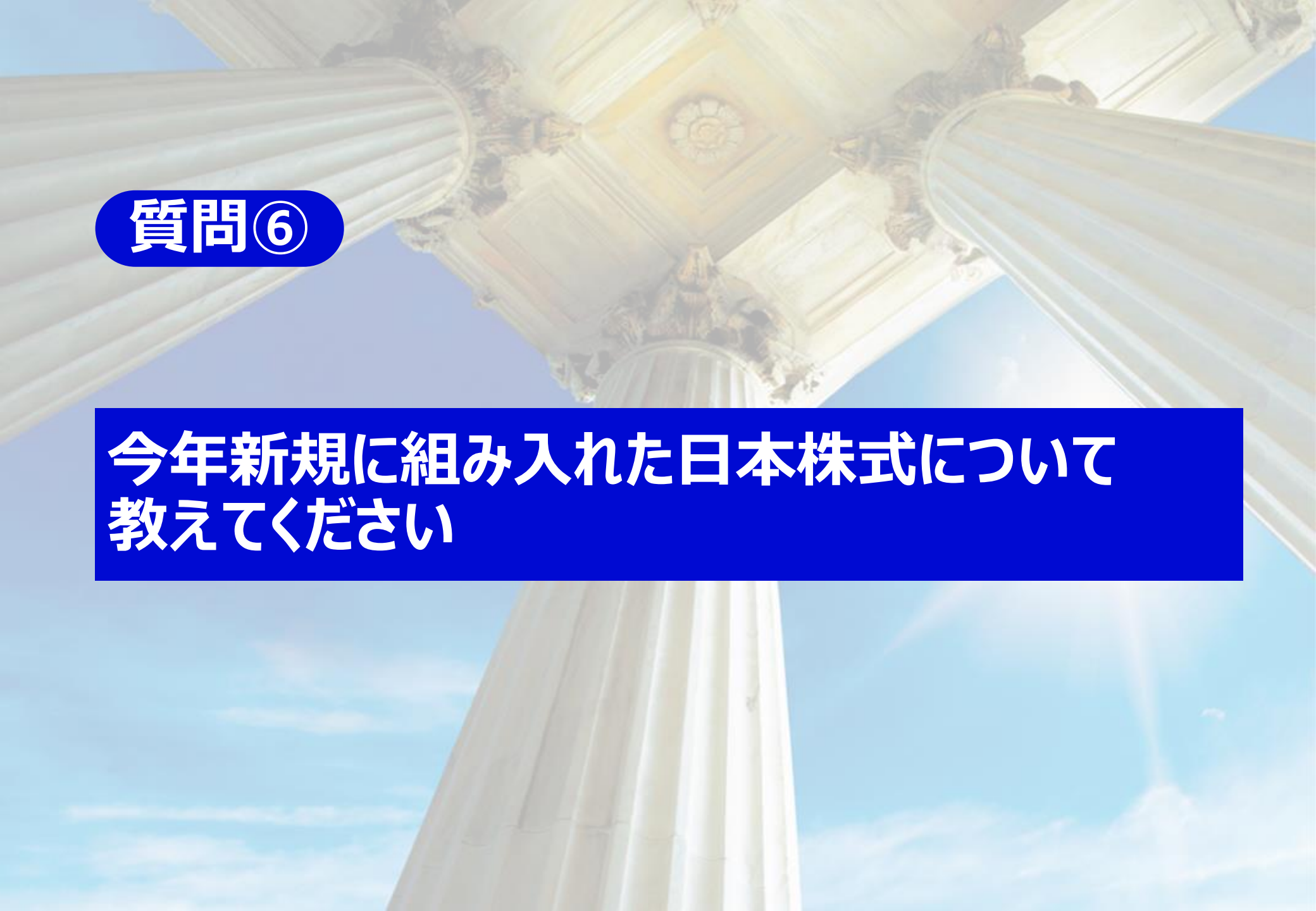
- 1934年創業、北米最大級の小口トラック貨物輸送（LTL）の貨物輸送業者
- 北米全域に数多くのサービスセンターを保有
- サービスの幅広さ、顧客満足度に定評

株価と組入比率の推移

期間：2022年3月末～2025年3月末

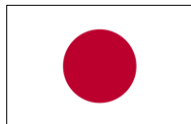
（組入比率は2024年2月末～2025年3月末）





質問⑥

今年新規に組み入れた日本株式について
教えてください



日本/資本財・サービス

企業概要

- 1858年創業。日本の**大手総合商社**
- 世界61ヶ国に約90の拠点をもち繊維、機械、金属、化学品、食料などの各分野において**国内外で幅広いビジネスを展開**

投資の着目点

ー現保有の投資開始時期：2025年1月ー

【成長】

- **株主還元姿勢、高い経営計画遂行姿勢、優れた資本配分**
- 内部成長と買収などによる成長を継続
- 同社の約80%*が、食品、コンビニエンスストア、繊維、宇宙、ITなどの**資源に依存しない産業**。業界の中で「**安定した**」企業

【配当】

- 配当利回り：2.9%（2025年3月末現在） **自社株買い**にも積極的

【割安】

- 予想PER：10.8倍（2025年3月末現在）

出所：インベスコ、ブルームバーグ、Factset、企業公開情報

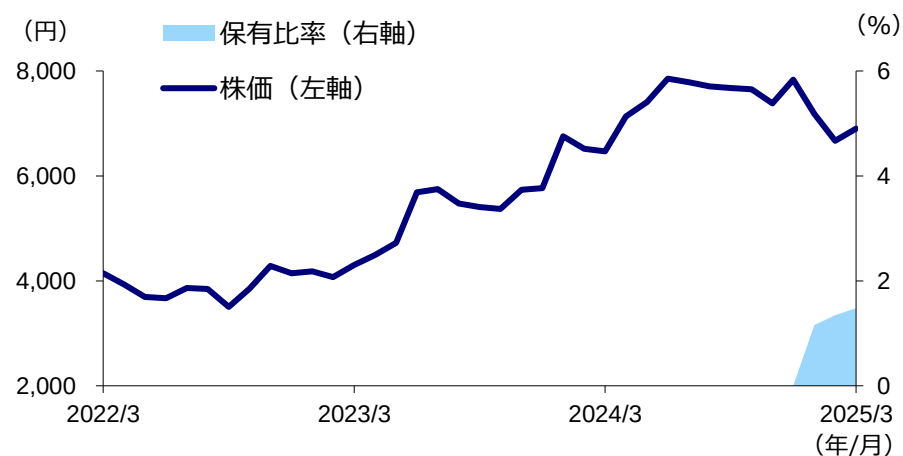
*2024年度決算における連結純利益の非資源比率

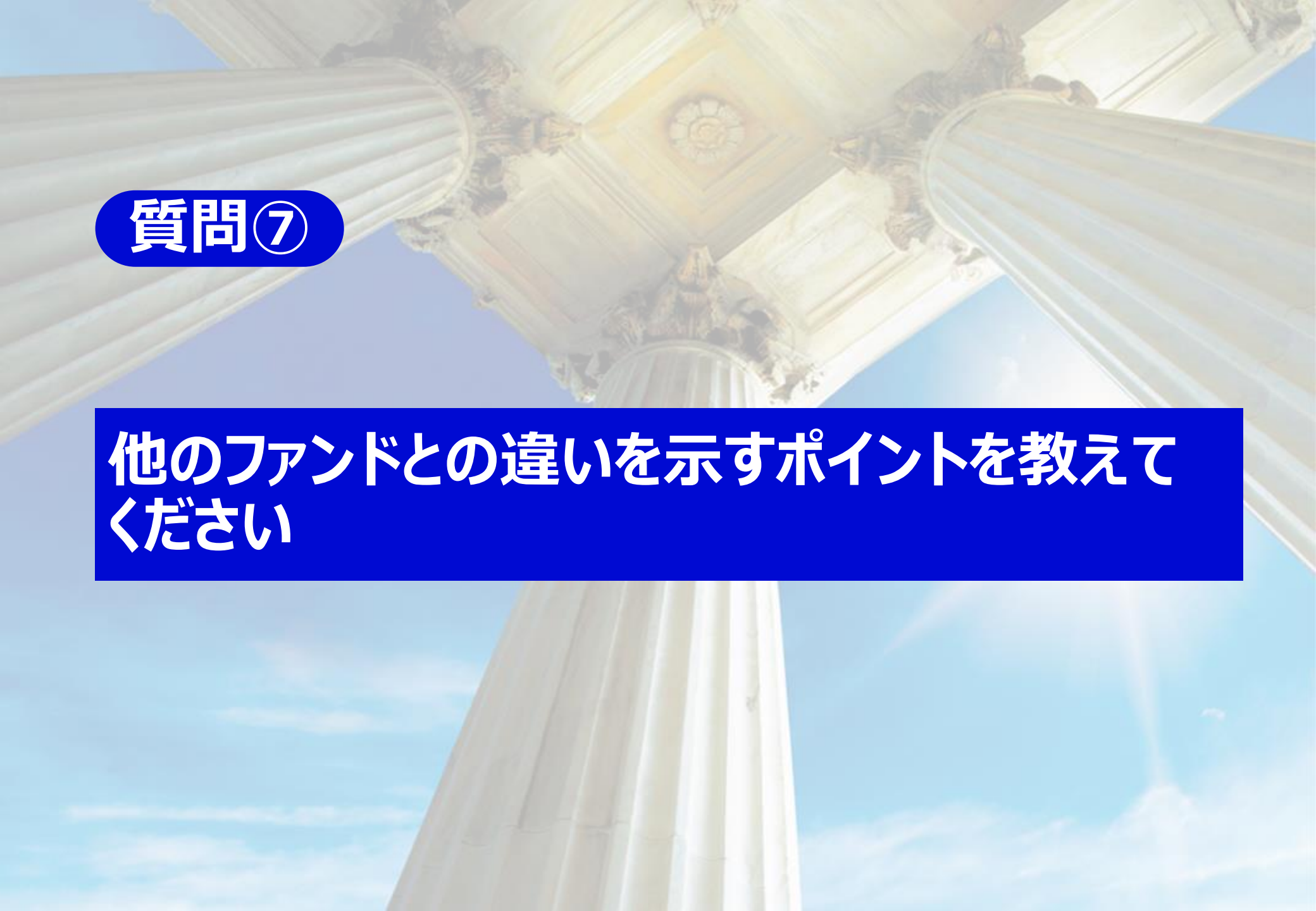
国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。組入比率は対純資産比です。予想PERは来年度の予想1株当たり利益に基づく値を使用。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は運用チームによる2025年3月末現在における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。



株価と組入比率の推移

期間：2022年3月末～2025年3月末（組入比率は2025年1月末～2025年3月末）





質問⑦

他のファンドとの違いを示すポイントを教えてください

組入上位10銘柄

国・地域、業種の分散を行い、確信度の高い銘柄に厳選投資

組入上位10銘柄

2025年3月末現在

銘柄数：44

	銘柄名	国	業種	純資産比
1	ロールス・ロイス・ホールディングス	英国	資本財・サービス	5.2%
2	3iグループ	英国	金融	5.2%
3	カナディアン・パシフィック・カンザス・シティ	カナダ	資本財・サービス	4.6%
4	マイクロソフト	米国	情報技術	4.3%
5	コカ・コーラ・ユーロパシフィック・パートナーズ	オランダ	生活必需品	4.0%
6	友邦保険控股（AIAグループ）	香港	金融	3.6%
7	テキサス・インスツルメンツ	米国	情報技術	3.4%
8	ユナイテッドヘルス・グループ	米国	ヘルスケア	3.4%
9	ノボ・ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	2.9%
10	スタンダードチャータード	英国	金融	2.8%

出所：インベスコ

上記はマザーファンドのデータを使用しています。比率は対純資産比率です。国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

「世界のベスト」の業種別構成比率

市場と異なる業種別配分

世界のベストの業種別構成比率

2025年3月末現在

業種	世界のベスト (%)	世界株式との差異 (%)
資本財・サービス	26.2	15.2
金融	26.4	9.1
ヘルスケア	14.4	3.3
不動産	2.4	0.2
生活必需品	5.9	-0.5
素材	2.1	-1.2
エネルギー	2.2	-1.9
公益事業	0.0	-2.7
コミュニケーション・サービス	4.2	-3.7
一般消費財・サービス	4.0	-6.2
情報技術	11.0	-12.6

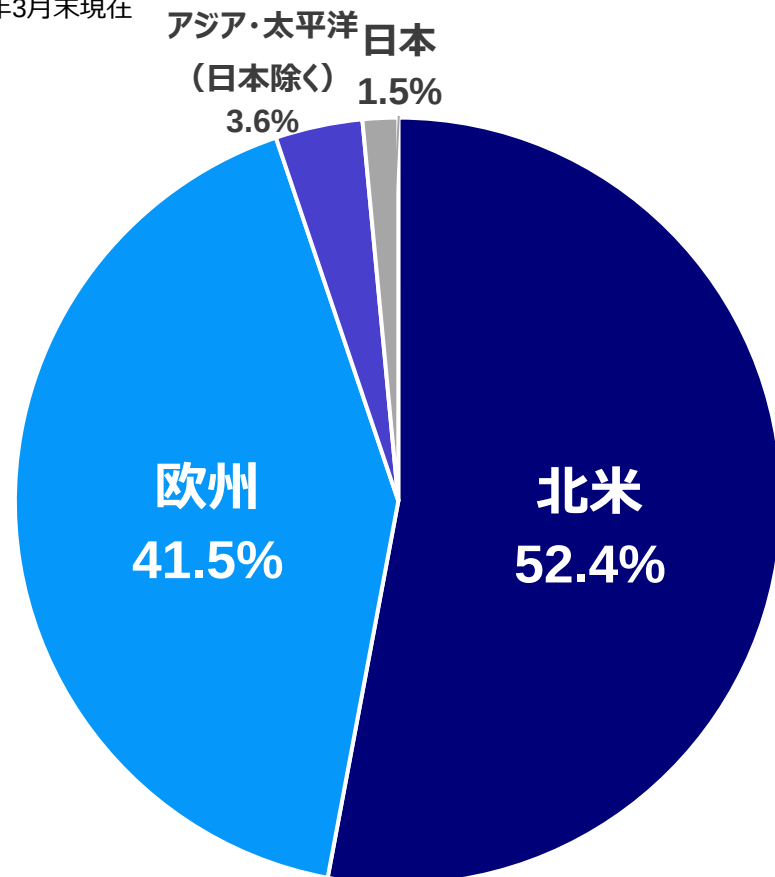
出所：インベスコ、FactSet 上記は世界のベストのマザーファンドのポートフォリオのデータを使用しています。比率は対純資産比率です。世界株式はMSCIワールド・インデックスです。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

「世界のベスト」の国・地域別構成比率

市場に比べて欧州を高位に組み入れ

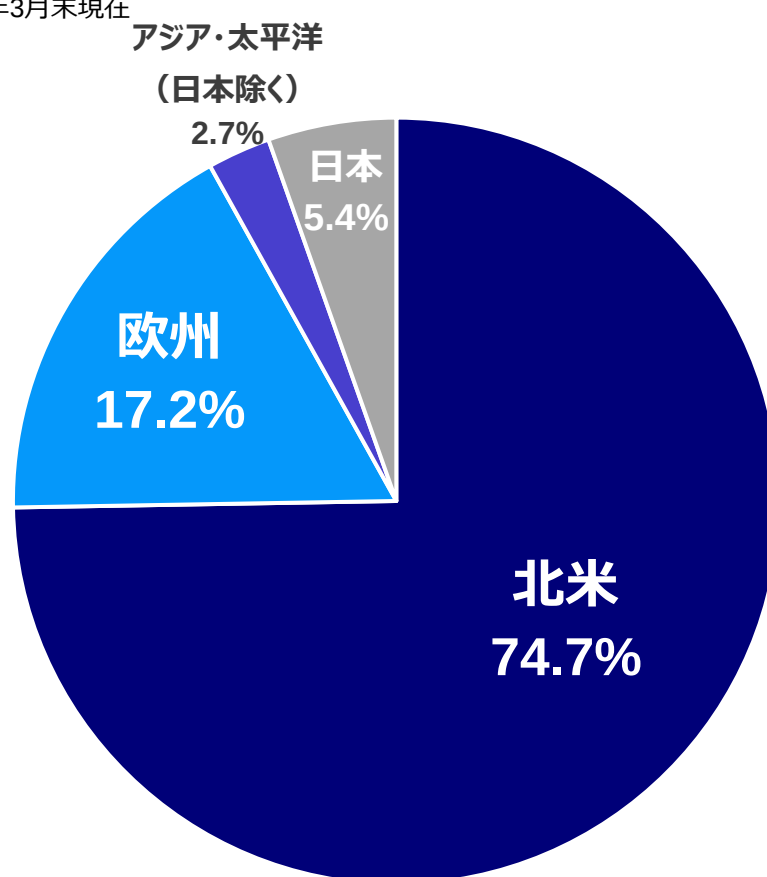
世界のベスト

2025年3月末現在



世界株式

2025年3月末現在

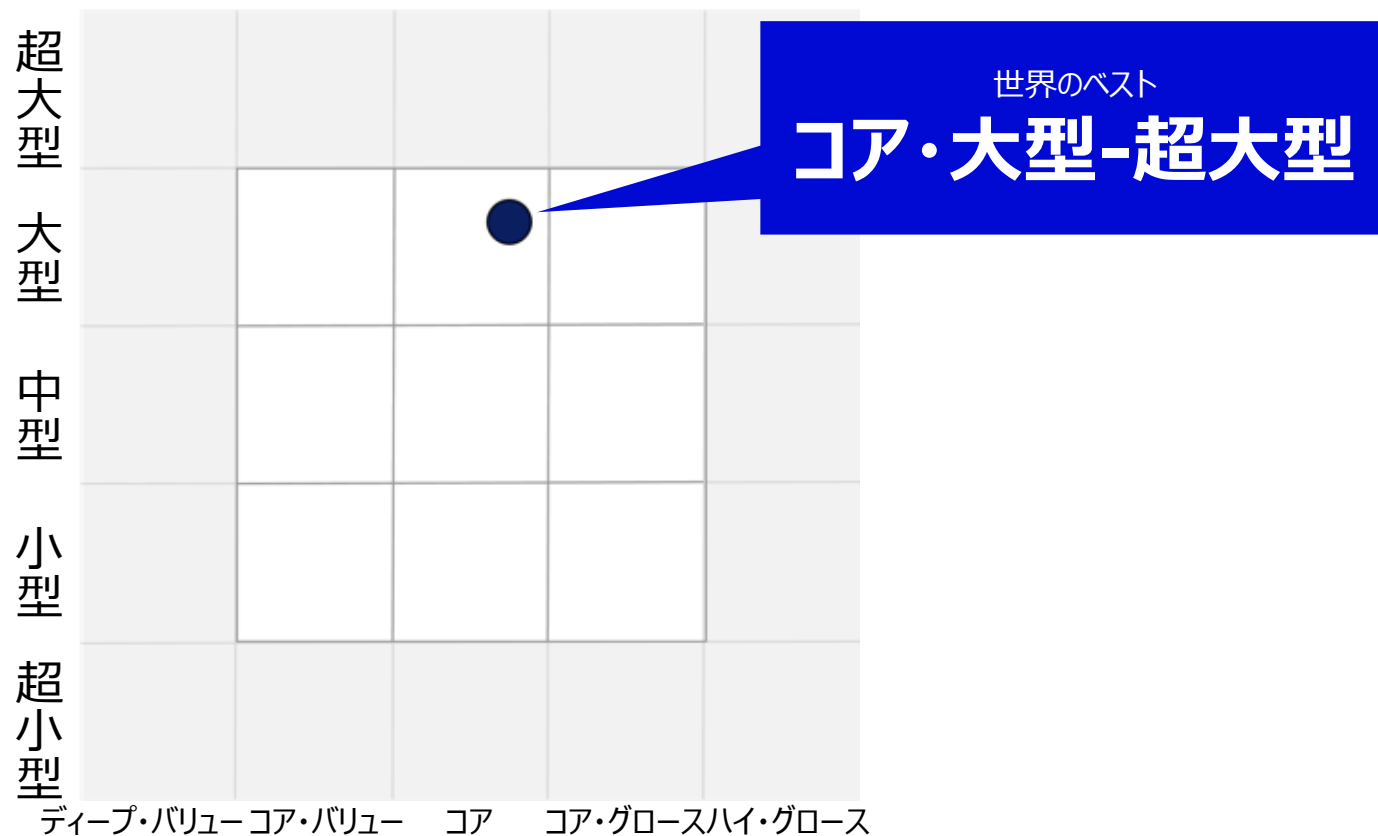


出所：インベスコ、FactSet 上記は世界のベストのマザーファンドのポートフォリオのデータを使用しています。比率は対純資産比率です。国・地域は発行体の国籍（所在国）などで区別しています。欧州にはアフリカ・中東が含まれます。世界株式はMSCIワールド・インデックスです。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

「世界のベスト」のスタイル分析（保有銘柄ベース）

世界のベストの保有銘柄ベース・スタイル分析

2025年3月末現在



出所：インベスコ、モーニングスター・ダイレクト 上記は過去のデータであり将来の成果などをお約束するものではありません。
当資料について、巻末の「Morningstar Directを出所とするデータ・グラフについて」をご確認頂くようお願いいたします。

主要スタイル指数と「世界のベスト」の運用戦略（円ベース）①

世界のベストはマザーファンドのものです。世界のベストの運用戦略を市場（インデックス）と比較するためにお示ししています。マザーファンドには信託報酬（年率1.903%（税込））はかかりません。実際の各ファンドの運用実績とは異なります。各ファンドの設定来の運用実績は43～45ページをご参照ください。

2021年以降のパフォーマンス推移

期間：2020年12月末～2024年12月末（2020年12月末を100として指数化）



上記グラフ期間のリターンとリスク（年率）

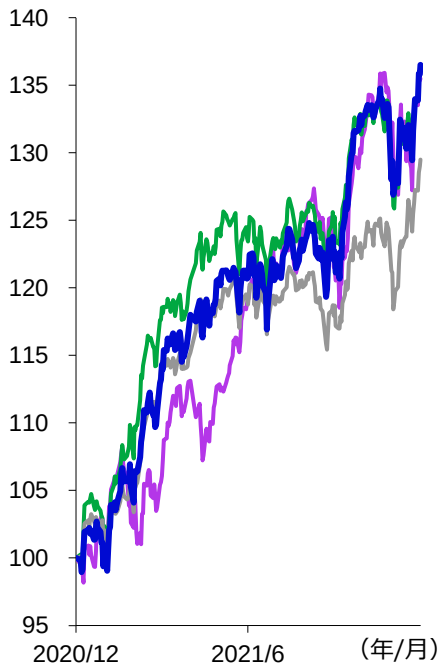
	世界のベスト	世界株式（グロース）	世界株式（バリュー）	世界株式（高配当）
リターン（年率）	26.0%	23.2%	21.7%	19.0%
リスク（年率）	13.0%	18.0%	12.5%	10.7%
リターン／リスク	2.0	1.3	1.7	1.8

出所：ブルームバーグ、インベスコ 世界のベストはマザーファンド（信託報酬控除前）を使用。世界株式（グロース）は、MSCIワールド・グロース・インデックス（米ドルベース）、世界株式（バリュー）は、MSCIワールド・バリュー・インデックス（米ドルベース）、世界株式（高配当）は、MSCIワールド・高配当利回り・インデックス（米ドルベース）。すべて配当込み。当ファンドの基準日の前日の数値を用いて委託会社にて円換算しています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的で参考として掲載しています。ベンチマークは、＜為替ヘッジあり＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）、＜為替ヘッジなし＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

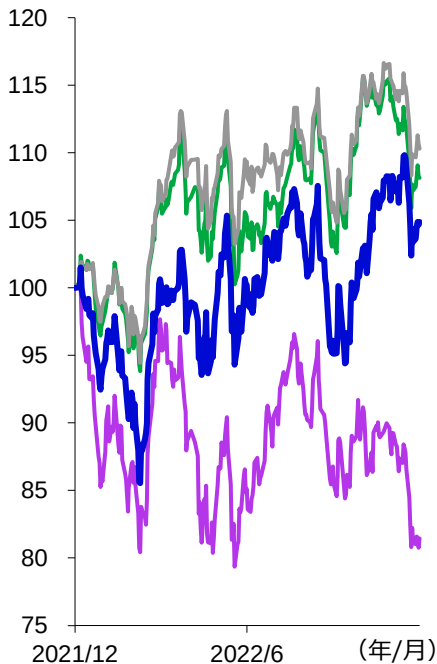
主要スタイル指数と「世界のベスト」の運用戦略（円ベース）②

世界のベストはマザーファンドのものです。世界のベストの運用戦略を市場（インデックス）と比較するためにお示ししています。マザーファンドには信託報酬（年率1.903%（税込））はかかりません。実際の各ファンドの運用実績とは異なります。各ファンドの設定来の運用実績は43～45ページをご参照ください。

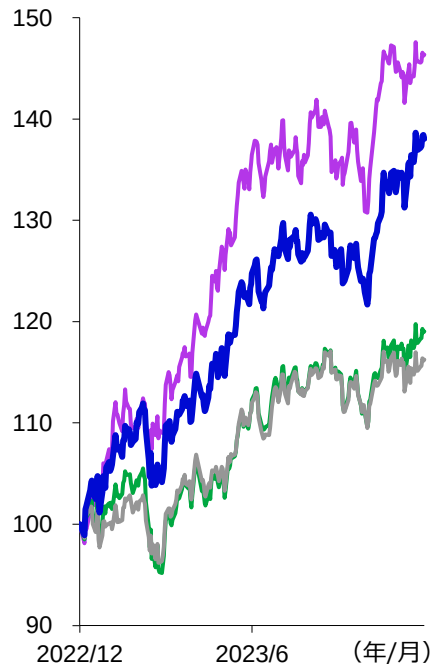
2021年 コロナ禍からの正常化過程 スタイル強弱無し



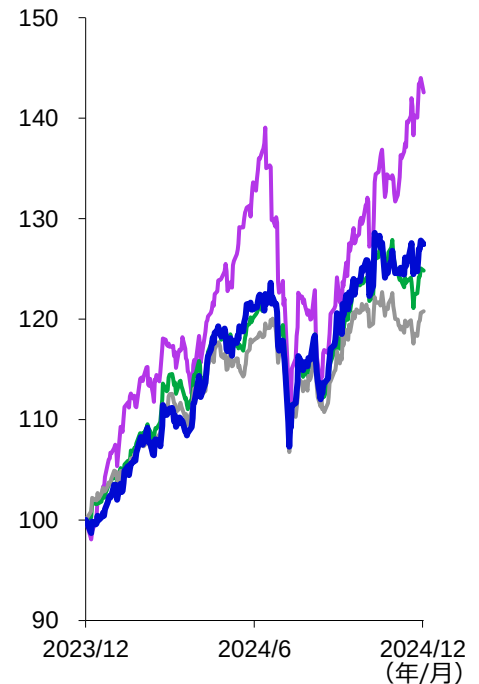
2022年 利上げ局面 バリュー優勢



2023年 利上げ局面終了 グロース優勢



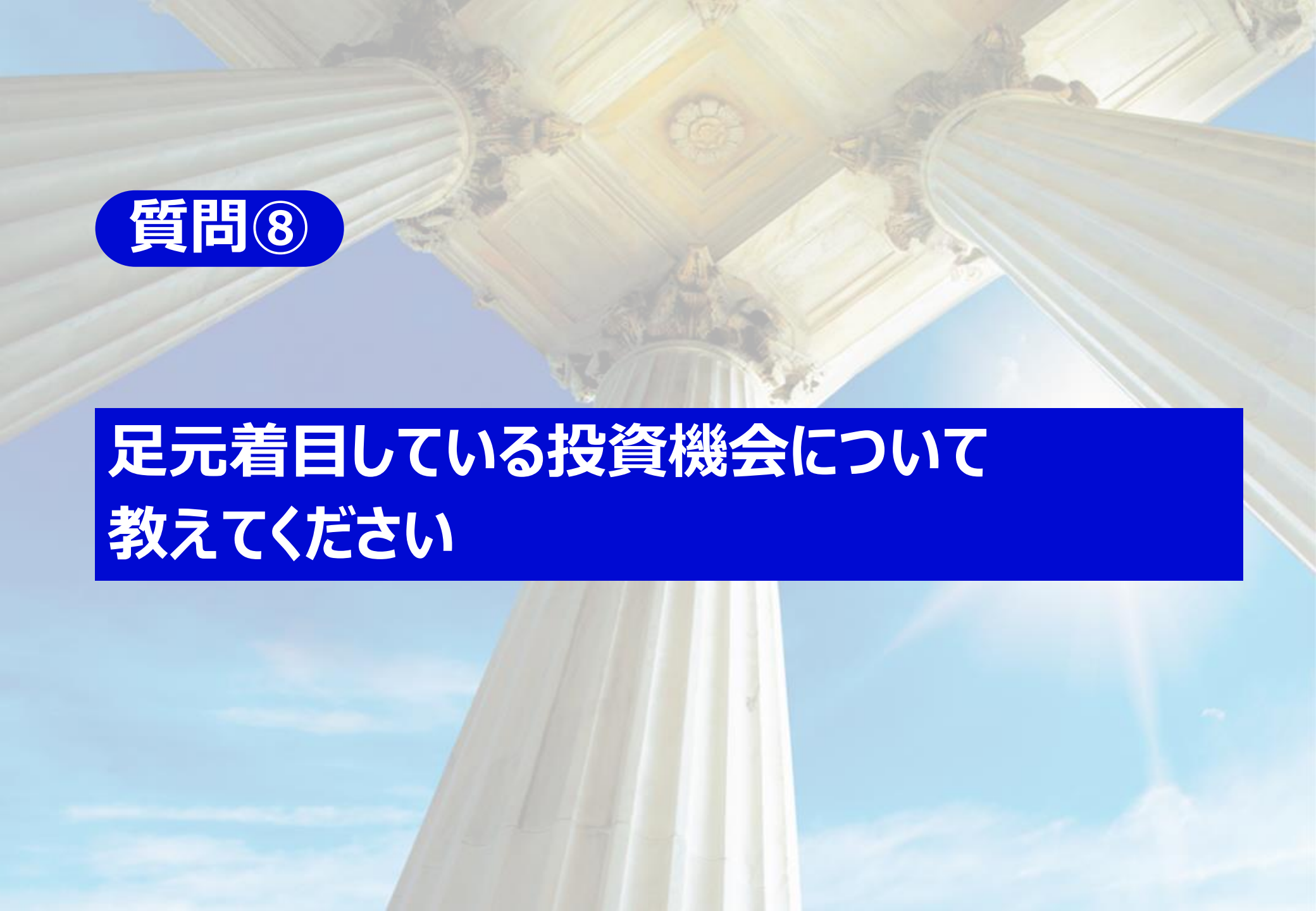
2024年 利下げ局面開始 グロース優勢



— 世界のベスト — 世界株式（グロース） — 世界株式（バリュー） — 世界株式（高配当）

出所：ブルームバーグ、インベスコ 左グラフ期間：2020年12月末～2021年12月末（2020年12月末を100として指数化）中央左グラフ期間：2021年12月末～2022年12月末（2021年12月末を100として指数化）中央右グラフ期間：2022年12月末～2023年12月末（2022年12月末を100として指数化）右グラフ期間：2023年12月末～2024年12月末（2023年12月末を100として指数化）

世界のベストはマザーファンド（信託報酬控除前）を使用。世界株式（グロース）は、MSCIワールド・グロース・インデックス（米ドルベース）、世界株式（バリュー）は、MSCIワールド・バリュー・インデックス（米ドルベース）、世界株式（高配当）は、MSCIワールド・高配当利回り・インデックス（米ドルベース）。すべて配当込み。当ファンドの基準日の前日の数値を用いて委託会社にて円換算しています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的でご参考として掲載しています。ベンチマークは、＜為替ヘッジあり＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）、＜為替ヘッジなし＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。



質問⑧

足元着目している投資機会について
教えてください

魅力的な投資機会はどこに？



運用チームが考える主な投資の着目点と投資機会

着目点

①	相互関税環境下でも揺るがない 競争力
②	不透明な環境も乗り切る 経営力
③	マクロ動向に左右されにくい 市場特性

投資機会

高い参入障壁を持つ企業 銘柄例：カナディアン・パシフィック・カンザス・シティ、 ロールス・ロイス・ホールディングス
優れた資本配分戦略を持つ企業 銘柄例：伊藤忠商事、ブロードコム、 ファースト・エンタープライゼズ
独自の成長力を持つ企業 銘柄例：ノボ・ノルディスク、コーペイ

出所：インベスコ

上記は2025年4月末現在における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。

質問⑨

分配の実績について教えてください

決算回数や為替ヘッジ有無の異なる6つのファンド

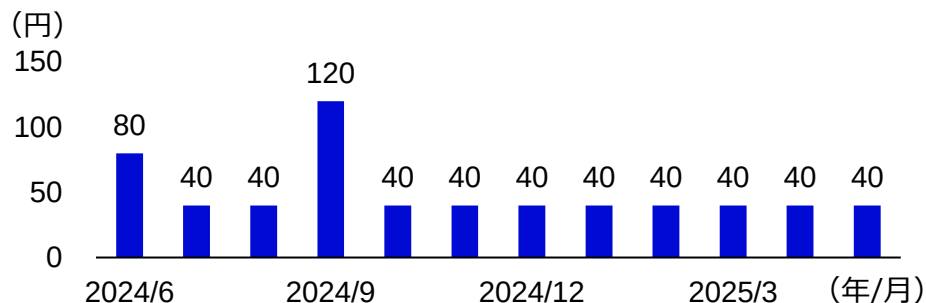


＜為替ヘッジあり/為替ヘッジなし＞
(毎月決算型)

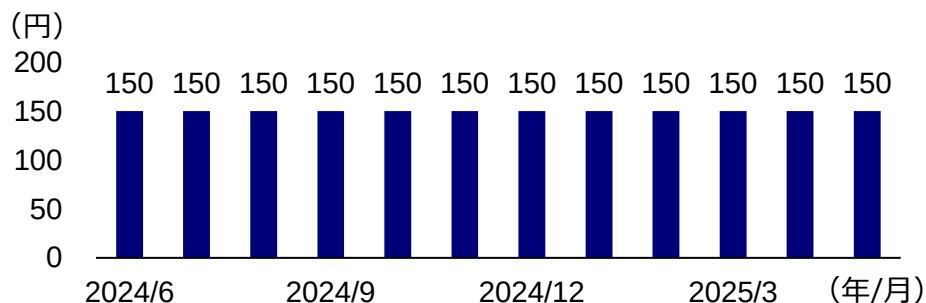
運用を継続しながら、毎月一定水準*1の分配金を支払うことで、お客さまの**資金受け取りニーズ**に対応

過去1年間の分配金実績 (2025年5月末現在)

＜為替ヘッジあり＞



＜為替ヘッジなし＞



*1毎月支払う分配金の水準は、委託会社が分配方針に基づき決定し、一定期間維持することを基本とします。ただし、委託会社は運用状況によりその水準の見直しを行います。また、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。*2 相場上昇時においてはプラスの複利効果がある一方で、相場下落時においては複利効果がマイナスに作用し損失が拡大する場合があります。出所：インベスコ 分配金は1万口当たり、課税前 上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。各ファンドの分配方針は投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。



＜為替ヘッジあり/為替ヘッジなし＞
(年1回決算型)



将来への備えとして、**長期的に複利効果*2を活用した資産形成を目指したいというニーズ**に対応

NISA「成長投資枠」の対象ファンドです。

※設定来の分配金の実績はなし (2025年5月末現在)



＜為替ヘッジあり/為替ヘッジなし＞
(奇数月決算型)

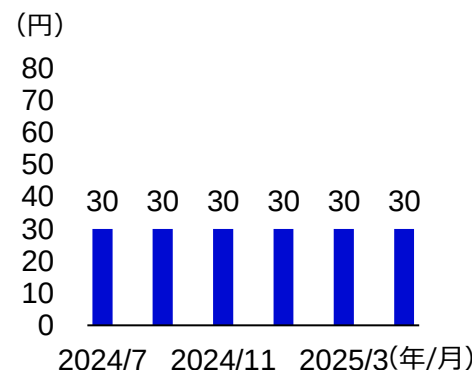


運用を継続しながら、お客さまの**資金受け取りニーズ**に対応
NISA「成長投資枠」の対象ファンドです。

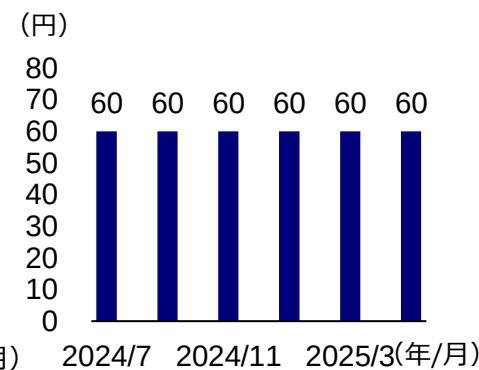
※2023年11月と2024年1月の分配金実績はありません。

過去1年間の分配金実績 (2025年5月末現在)

＜為替ヘッジあり＞



＜為替ヘッジなし＞





ご参考

インベスコ・英国ヘンリー拠点

創業1973年、ヘンリー・オン・テムズに構える運用拠点

大都市ロンドンにおける情報過多の弊害を回避
郊外で運用のみに専念できる体制を整備

英国の伝統ある資産運用会社

インベスコ・グループの中核運用拠点の1つ
運用資産総額700億米ドル（約10.5兆円*）



ヘンリー・オン・テムズ

Henley-on-Thames



クリエイティブな投資アイデアを生み出す環境



出所：インベスコ、2025年3月末現在。* 1米ドル＝149.54円で計算 上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

先進国の企業約20,000社^{*1}から 調査対象企業の絞り込み

ステップ1

投資アイデアの発掘

ステップ2

ファンダメンタルズ分析

ステップ3

ポートフォリオ構築

約40-50の銘柄を厳選^{*2}

^{*1} 出所：WORLD FEDERATION OF EXCHANGES、LSE Group London Stock Exchange。

2024年12月末現在（LSE Group London Stock Exchangeは2024年12月末現在）。

先進国の企業数は以下の証券取引所の上場企業数を合算することにより20,003社と算出。当数字は、以下の各証券取引所の上場企業数を合計したものであり、重複上場を考慮していません。

北米：NYSE、Nasdaq、TMX Group。アジア太平洋：ASX Australian Securities Exchange、Hong Kong Exchanges and Clearing、Japan Exchange Group、Singapore Exchange。欧州：Euronext、BME Spanish Exchanges、Deutsche Boerse AG、LSE Group London Stock Exchange。

^{*2} ポートフォリオの銘柄数は運用状況に応じて変わります。

上記運用プロセスは、2024年12月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

「世界のベスト」のポートフォリオの特徴



長期投資

- 平均保有期間：3-5年
- ポートフォリオ回転率：36.3%

厳選投資

- 保有銘柄数：約40-50銘柄
- 個別銘柄のリスクに着目、低いポートフォリオ相関

アクティブ運用

- アクティブ・シェア：89%*

配当着目

- 市場と比較して魅力的な配当水準および配当成長水準
- 配当利回り：2.1%（ベンチマーク：1.8%）

コントラリアン

- 市場で見過ごされている魅力的な投資機会を捉える

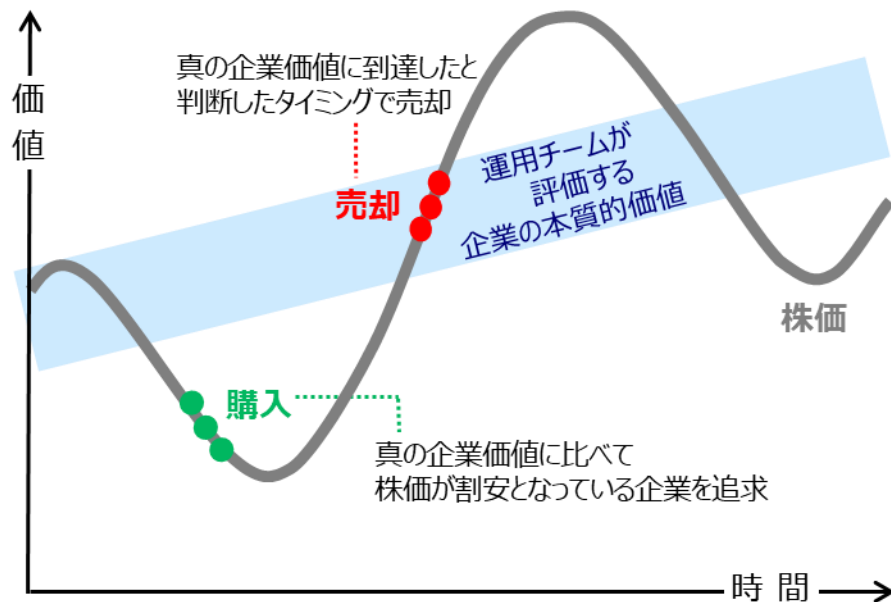
出所：インベスコ、2025年3月末現在。*2025年2月末現在、世界のベストと同じ戦略を行う外国籍のファンドInvesco Global Equity Income Fund (UK)のものであり、当ファンドのものではありません。Invesco Global Equity Income Fund (UK)は日本での取り扱いはありません。上記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

ヘンリー拠点の「コントラリアン・アプローチ」

市場とは大きく異なる銘柄選定によりリターンを獲得

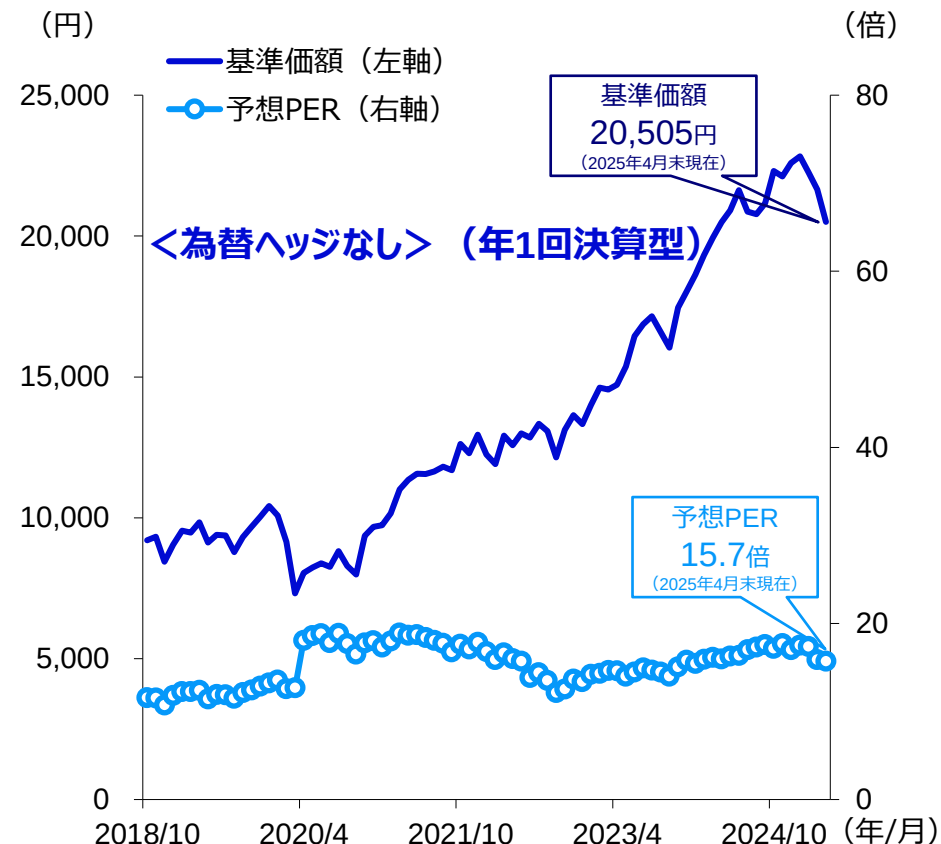
ヘンリー拠点のコントラリアン・アプローチ

【イメージ図】



世界のベストの基準価額と予想PERの推移

期間：2018年10月末（年1回決算型の設定月末）～2025年4月末



出所：インベスコ、FactSet 【左図】上図はイメージです。より魅力的な投資機会が見つかった場合やポートフォリオ全体のリスク水準を調整する際などには、真の企業価値に到達しない水準で売却を行うことがあります。
【右グラフ】予想PERは12か月先の予想1株当たり利益に基づく値を使用。基準価額は信託報酬控除後です。
上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

目的に応じて選べるファンド

決算頻度や為替ヘッジの有無により異なる複数のタイプのファンドがあります。

例えば…

定期的な資金受け取りが不要であり、
複利効果*を活用した
中長期資産形成をお考えの方は…



＜為替ヘッジあり＞ /
＜為替ヘッジなし＞
(年1回決算型)



NISA (少額投資非課税制度)
「成長投資枠」の
対象ファンドです

例えば…

定期的に受け取った資金を使いつつ、資産寿命を延ばすための
運用をお考えの方は



＜為替ヘッジあり＞ /
＜為替ヘッジなし＞
(奇数月決算型)



NISA「成長投資枠」の
対象ファンドです



＜為替ヘッジあり＞ /
＜為替ヘッジなし＞
(毎月決算型)

毎月決算型はNISAの対象ファンドではありません。

※販売会社によってお取り扱いのファンドが異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

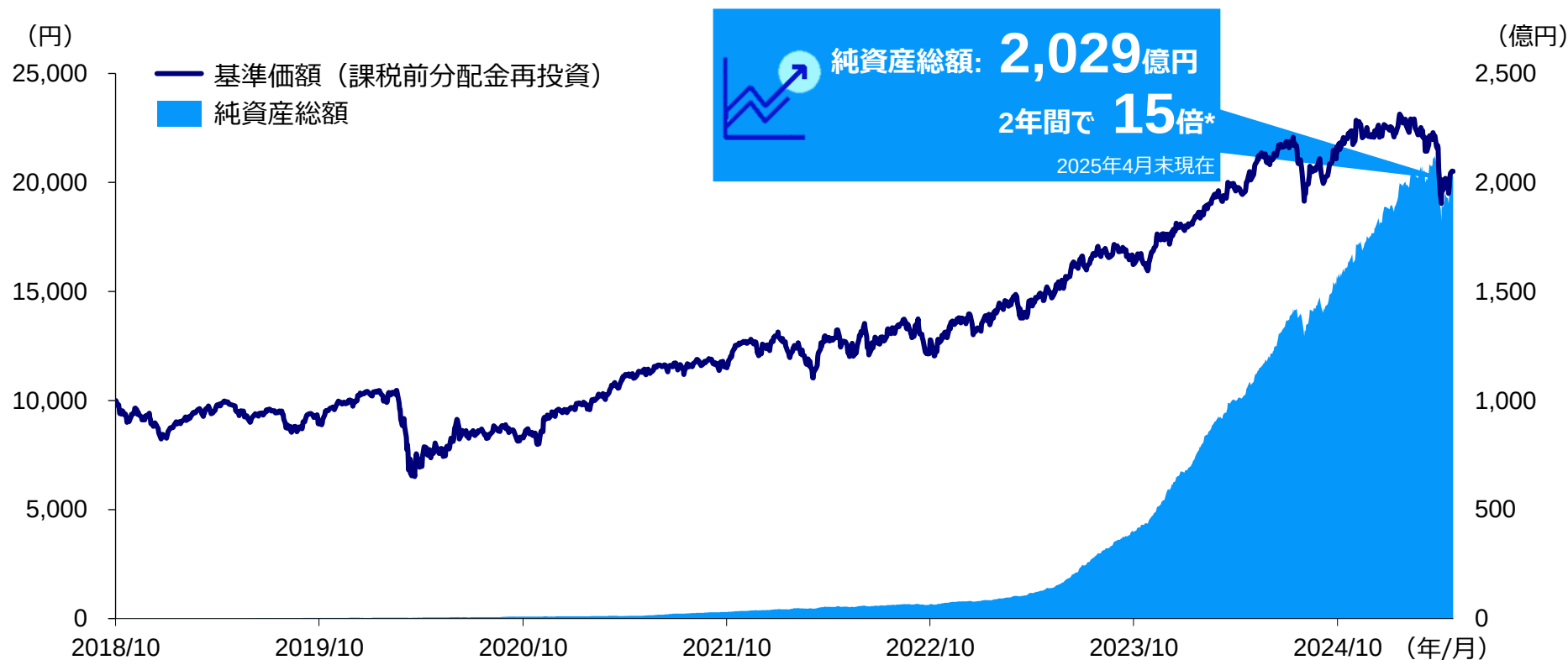
* 相場上昇時においてはプラスの複利効果がある一方で、相場下落時においては複利効果がマイナスに作用し損失が拡大する場合があります。
分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。各ファンドの分配方針に関しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のご紹介

年1回決算型は、NISA（少額投資非課税制度）における「成長投資枠」の対象ファンドです。

世界のベスト<為替ヘッジなし>（年1回決算型）の設定来の基準価額と純資産総額の推移

期間：2018年10月5日（設定日）～2025年4月30日



* 2023年4月末と2025年4月末の比較

出所：インベスコ 基準価額は信託報酬控除後のものです。上記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

【ご参考】積立投資のシミュレーション

世界のベストに25年超積立投資をしたシミュレーションでは、投資総額の約4倍の投資成果に

世界のベストに毎月5万円ずつ積立投資した場合のシミュレーション

期間：1999年1月末～2025年4月末



出所：インベスコ 世界のベストのマザーファンドである「インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド」の月次データを使用して算出しています。1991年1月末（マザーファンドの設定月末）から毎月末に5万円を投資したと仮定して積立投資した場合のシミュレーションです。各ファンドの運用実績ではありません。購入時手数料や信託報酬等の手数料、税金等費用を考慮していません。上記は過去のデータおよび試算であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定来の運用実績① 年1回決算型 (2025年5月30日現在)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型)

設定来基準価額の推移



騰落率

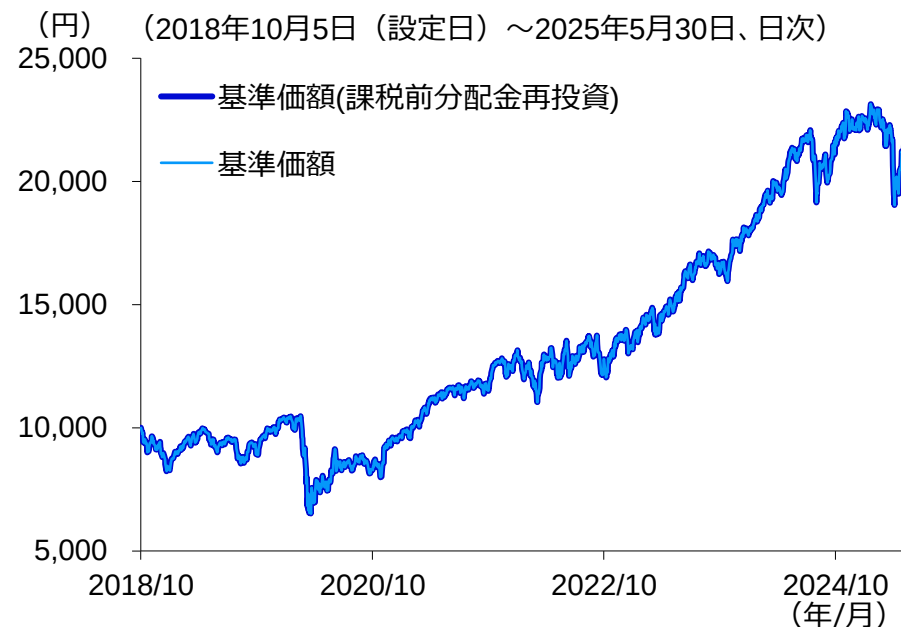
1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
7.7%	0.2%	0.8%	8.6%	30.2%	72.1%	47.1%

分配実績

設定来累計 (1万口当たり、課税前)	0円
-----------------------	----

<為替ヘッジなし> (年1回決算型)

設定来基準価額の推移



騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
9.0%	0.5%	1.1%	6.9%	72.0%	171.4%	123.6%

分配実績

設定来累計 (1万口当たり、課税前)	0円
-----------------------	----

出所：インベスコ

基準価額は信託報酬控除後のものです。騰落率は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値を用いています。上記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。各ファンドの分配方針に関しては、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。販売会社によっては一部のファンドのみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

設定来の運用実績② 毎月決算型（2025年5月30日現在）

<為替ヘッジあり>（毎月決算型）

設定来基準価額の推移



騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
7.7%	0.2%	0.8%	8.6%	30.1%	71.4%	150.1%

過去6ヵ月の 分配実績

(1万口当たり、課税前)

2024年 12月	2025年 1月	2月	3月	4月	5月	設定来累計
40円	40円	40円	40円	40円	40円	7,590円

出所：インベスコ

基準価額は信託報酬控除後のものです。騰落率は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値を用いています。上記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。各ファンドの分配方針に関しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。販売会社によっては一部のファンドのみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<為替ヘッジなし>（毎月決算型）

設定来基準価額の推移



騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
9.0%	0.5%	1.1%	6.8%	71.7%	170.4%	381.5%

過去6ヵ月の 分配実績

(1万口当たり、課税前)

2024年 12月	2025年 1月	2月	3月	4月	5月	設定来累計
150円	150円	150円	150円	150円	150円	18,400円

設定来の運用実績③ 奇数月決算型（2025年5月30日現在）

<為替ヘッジあり>（奇数月決算型）

設定来基準価額の推移



騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
7.7%	0.7%	1.0%	8.7%	21.6%

過去6ヵ月の 分配実績

(1万口当たり、課税前)

2025年 1月	3月	5月	設定来累計
30円	30円	30円	240円

出所：インベスコ

基準価額は信託報酬控除後のものです。騰落率は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値を用いています。上記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。各ファンドの分配方針に関しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。販売会社によっては一部のファンドのみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）

設定来基準価額の推移



騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
9.0%	0.4%	1.0%	6.7%	31.6%

過去6ヵ月の 分配実績

(1万口当たり、課税前)

2025年 1月	3月	5月	設定来累計
60円	60円	60円	480円

ファンドの特色① 年1回決算型

- 1 主としてマザーファンド※1受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資します。
- 2 銘柄選択にあたっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づくボトムアップ・アプローチにより行います。
- 3 為替変動リスクについて、対応の異なる2つのファンドがあります。
＜為替ヘッジあり＞では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
＜為替ヘッジなし＞では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
- 5 ＜為替ヘッジあり＞はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）※2、＜為替ヘッジなし＞はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）※2をベンチマーク※3とします。
- 6 インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッド（英国、オックスフォードシャー）に、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

※1 ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インベスコ世界先進国株式 マザーファンド」です。

※2 ◇MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）の数値です。MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）で独自に円換算したものです。◇MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が算出する株式インデックス（指数）の一つです。MSCIインデックスは、MSCI Inc.の知的財産であり、MSCIはMSCI Inc.のサービスマークです。

◇この情報はMSCI Inc.の営業秘密であり、またその著作権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。また、ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。◇MSCIワールド・インデックスの構成国や構成銘柄等は、適宜見直しが行われます。したがって、ファンドの投資対象国および投資対象銘柄は事前の予告なく変更されることがあります。

※3 ベンチマークとは、ファンドのパフォーマンス評価やポートフォリオのリスク管理を行う際の基準となる指標のことです。ファンドは、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を得ることを目的としていますが、ベンチマークを上回る投資成果をあげることを保証するものではありません。

当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、受益者から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して実質的な運用を行う仕組みです。

なお、ファンドは投資状況により、マザーファンドのほか株式等に直接投資する場合や、マザーファンドと同様の運用を行う場合があります。

ファンドの特色② 毎月決算型

- 1 主としてマザーファンド※1受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資します。
- 2 銘柄選択にあたっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づくボトムアップ・アプローチにより行います。
- 3 為替変動リスクについて、対応の異なる2つのファンドがあります。
＜為替ヘッジあり＞では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
＜為替ヘッジなし＞では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
毎月の資金受け取りニーズに対応したファンドです。
- 4 ■ 運用を継続しながら、毎月一定水準※2の分配金を支払うことで、受益者の資金受け取りニーズに対応する商品です。
■ 分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。ファンドの分配方針に基づき、各期に支払われる分配金は、各期中に発生したファンドの投資収益の範囲内で支払われる場合のほか、投資収益の範囲を超えて支払われる場合があります。
■ 各期中に発生したファンドの投資収益の範囲を超えて分配金が支払われる場合は、前期までの繰越分などを加えて支払うことがあります。この場合、当期の分配金支払後基準価額が前期の分配金支払後基準価額と比べて下落します。詳しくは、後述の「収益分配金に関する留意事項」をご確認ください。
- 5 ＜為替ヘッジあり＞はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）※3、＜為替ヘッジなし＞はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）※3をベンチマーク※4とします。
- 6 インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッド（英国、オックスフォードシャー）に、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

※1 ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インベスコ世界先進国株式 マザーファンド」です。

※2 毎月支払う分配金の水準は、委託会社が分配方針に基づき決定し、一定期間維持することを基本とします。ただし、委託会社は運用状況によりその水準の見直しを行います。また、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

※3 ◇MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）の数値です。MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売相場仲値）で独自に円換算したものです。◇MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が算出する株式インデックス（指数）の一つです。MSCIインデックスは、MSCI Inc.の知的財産であり、MSCIはMSCI Inc.のサービスマークです。◇この情報はMSCI Inc.の営業秘密であり、またその著作権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。また、ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。◇MSCIワールド・インデックスの構成国や構成銘柄等は、適宜見直しが行われます。したがって、ファンドの投資対象国および投資対象銘柄は事前の予告なく変更されることがあります。

※4 ベンチマークとは、ファンドのパフォーマンス評価やポートフォリオのリスク管理を行う際の基準となる指標のことです。ファンドは、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を得ることを目的としていますが、ベンチマークを上回る投資成果をあげることを保証するものではありません。

当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、受益者から投資された資金をまとめてペーパーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して実質的な運用を行う仕組みです。

なお、ファンドは投資状況により、マザーファンドのほか株式等に直接投資する場合や、マザーファンドと同様の運用を行う場合があります。

ファンドの特色③ 奇数月決算型

- 1 主としてマザーファンド※1受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資します。
- 2 銘柄選択にあたっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づくボトムアップ・アプローチにより行います。
- 3 為替変動リスクについて、対応の異なる2つのファンドがあります。
＜為替ヘッジあり＞では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
＜為替ヘッジなし＞では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
原則として、奇数月（1、3、5、7、9、11月）の各23日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に分配を行います。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。
- 4 ■ 分配対象額の範囲は、繰り越し分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
■ 分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- 5 ＜為替ヘッジあり＞はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）※2、＜為替ヘッジなし＞はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）※2をベンチマーク※3とします。
- 6 インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッド（英国、オックスフォードシャー）に、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

※1 ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インベスコ世界先進国株式 マザーファンド」です。

※2 ◇MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）の数値です。MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売相場）の仲値）で独自に円換算したものです。◇MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が算出する株式インデックス（指数）の一つです。MSCIインデックスは、MSCI Inc.の知的財産であり、MSCIはMSCI Inc.のサービスマークです。
◇この情報はMSCI Inc.の営業秘密であり、またその著作権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。また、ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。◇MSCIワールド・インデックスの構成国や構成銘柄等は、適宜見直しが行われます。したがって、ファンドの投資対象国および投資対象銘柄は事前の予告なく変更されることがあります。

※3 ベンチマークとは、ファンドのパフォーマンス評価やポートフォリオのリスク管理を行う際の基準となる指標のことです。ファンドは、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を得ることを目的としていますが、ベンチマークを上回る投資成果をあげることを保証するものではありません。

当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、受益者から投資された資金をまとめてペーパーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して実質的な運用を行う仕組みです。

なお、ファンドは投資状況により、マザーファンドのほか株式等に直接投資する場合や、マザーファンドと同様の運用を行う場合があります。

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額の変動要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク	〈株式〉株価の下落は、基準価額の下落要因です。 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。
信用リスク	発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。 ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。
為替変動リスク	〈為替ヘッジあり〉為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。 為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。 〈為替ヘッジなし〉為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。 為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンド固有の留意点

- ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。

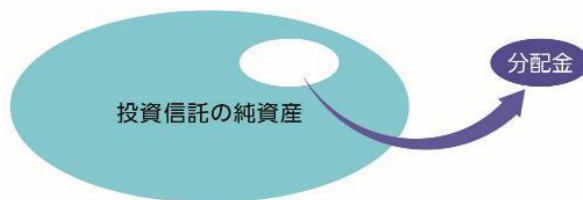
投資信託に関する留意点

- ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
- ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。
- マザーファンド受益証券に投資する他のペディーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入る有価証券等の売買が行われた場合などには、組入る有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金を支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

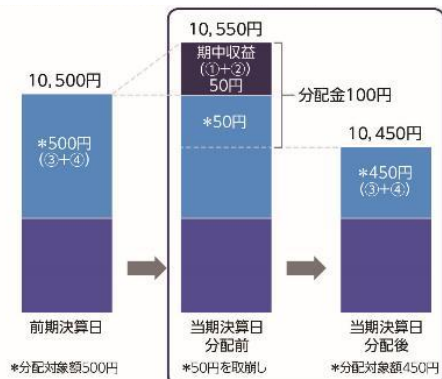
投資信託で分配金が支払われるイメージ



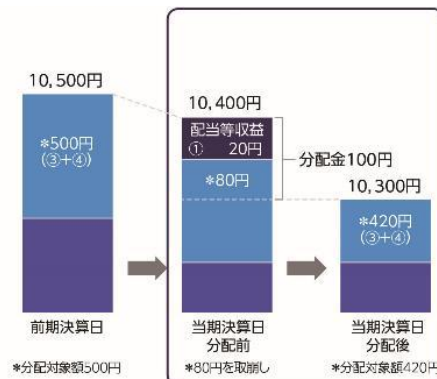
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合



■ 前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、「自動けいぞく投資コース」と「一般コース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金 申込受付の中止 および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	■ 毎月決算型：無期限（設定日：1999年1月7日） ■ 年1回決算型：無期限（設定日：2018年10月5日） ■ 奇数月決算型：無期限（設定日：2023年9月22日）
繰上償還	■ 毎月決算型：信託契約の一部解約により、＜為替ヘッジあり＞および＜為替ヘッジなし＞の受益権の総口数の合計が40億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。 ■ 年1回決算型：信託契約の一部解約により、＜為替ヘッジあり＞および＜為替ヘッジなし＞の受益権の総口数の合計が40億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。 ■ 奇数月決算型：信託契約の一部解約により、＜為替ヘッジあり＞および＜為替ヘッジなし＞の受益権の総口数の合計が40億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
決算日	■ 毎月決算型：毎月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ 年1回決算型：毎年12月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ 奇数月決算型：毎年1、3、5、7、9、11月の各23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）
収益分配	■ 毎月決算型：毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ 年1回決算型：年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ 奇数月決算型：年6回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 * 「自動けいぞく投資コース」でお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となります。毎月決算型は、NISAの対象ではありません。年1回決算型と奇数月決算型は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除は適用されません。

ファンドの費用／委託会社、その他の関係法人

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が定める 3.30%（税抜3.00%）以内 の率を乗じて得た額
信託財産留保額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.30% の率を乗じて得た額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬）	日々の投資信託財産の純資産総額に 年率1.903%（税抜1.73%） を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、以下の支払時期に投資信託財産中から支払われます。 ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。 ■ 奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。
その他の費用・ 手数料	・ 組入価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ・ 監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して 年率0.11%（税抜0.10%）を上限 として、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。 ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。 ■ 奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。

※上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他の関係法人

委託会社（設定・運用など）	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
受託会社（投資信託財産の管理など）	三菱UFJ信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）
販売会社（受益権の募集・販売の取り扱いなど）	販売会社については、＜ファンドに関する照会先＞にお問い合わせください。

＜ファンドに関する照会先＞

ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインベスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。
お問い合わせダイヤル 電話番号：03-6447-3100【受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです】
ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

お取り扱い金融機関①

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

■ 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資*に関する事務などを行います。

* 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。

■ 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2025年6月13日現在

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○	○	○	○
株式会社あおぞら銀行※4	登録金融機関	関東財務局長(登金)第8号	○		○		○	○	○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○		○	○	○
阿波証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第1号	○				○		
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				○	○	○
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○				○	○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○		○	○	○
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券、マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		○	○	○
株式会社大垣共立銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○		○	○	
OKB証券株式会社※3	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○				○	○	
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○				○	○	○
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○				○	○	○
京銀証券株式会社※3	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第392号	○				○	○	
株式会社京都銀行※3	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第10号	○		○		○	○	
株式会社京都銀行(委託金融商品取引業者 京銀証券株式会社)※3	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第10号	○		○		○	○	
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○			○	○	○	○
株式会社きらぼし銀行(委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○		○	○	

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※4 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※5 <為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。

お取り扱い金融機関②

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

■ 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資*に関する事務などを行います。

* 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。

■ 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2025年6月13日現在

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3198号	○				○	○	
ぐんぎん証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○				○	○	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○		○		○	○	
篠山証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第16号	○				○	○	○
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○				○	○	
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○	○			○	○	○
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第8号	○				○	○	
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○				○	○	
株式会社十六銀行※4	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○		○	○	○
株式会社常陽銀行(委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)※3	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○		○	○	
株式会社スマートプラス	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3031号	○	○		○	○	○	
スルガ銀行株式会社※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○				○	○	
損保ジャパンD C証券株式会社(確定拠出年金のみの取り扱い)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第106号	○				○		
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第1号	○				○	○	
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○			○	
株式会社大東銀行※5	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○					○	
大和証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○	○	○	
大和コネクト証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3186号	○				○	○	
株式会社但馬銀行※2	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○				○		
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○				○	○	

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※4 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※5 <為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。

お取り扱い金融機関③

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

■ 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資*に関する事務などを行います。

* 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。

■ 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2025年6月13日現在

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○	○	○	
株式会社筑波銀行※4	登録金融機関	関東財務局長(登金)第44号	○			○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○		
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			○		
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○		○	○	○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○			○	○	
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	○			○	○	
株式会社富山銀行※4	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			○	○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○	○	○	○
株式会社名古屋銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○			○	○	
西日本シティ証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			○	○	
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○	○	○	○	○	
日本生命保険相互会社(確定拠出年金のみの取り扱い)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第36号	○			○		
ニース証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第138号	○	○		○	○	
野村證券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○		
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			○	○	
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			○	○	○
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○		○	○	
PayPay証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2883号	○			○	○	
株式会社北陸銀行※3	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○	○		○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		○	○	○

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※4 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※5 <為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。

お取り扱い金融機関④

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

■ 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資*に関する事務などを行います。

* 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。

■ 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2025年6月13日現在

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○	○	○
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○				○	○	
株式会社みずほ銀行※1	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○	○		
三井証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第14号	○				○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○	○	○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行（委託金融商品取引業者三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	○	○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○		○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○			○	○	
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○			○	○	○
めぶき証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○				○	○	
株式会社UI銀行（委託金融商品取引業者 きらぼライフデザイン証券株式会社）（オンラインサービス専用）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第673号	○				○	○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○		○		○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○	○	○
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○		○	○	
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○				○	○	

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）および＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※4 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）、＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）および＜為替ヘッジなし＞（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※5 ＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。

MEMO



MEMO





【当資料のお取り扱いにおけるご注意】

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

【Morningstar Directを出所とするデータ・グラフについて】

© 2025 Morningstar. All Rights Reserved. ここに含まれる情報は、(1)Morningstar および/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、(2)複製または配布してはならず、(3)ライセンサーおよび Morningstarが提供する投資等の助言ではなく、(4)正確性、完全性または適時性を保証するものではありません。Morningstar、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンおよびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。